

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	地域特性等に応じた土地利用の推進	施策コード	61001	施策主管部課	都市部 都市計画課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	適正な土地利用の実現			関係課	公園緑地課	
	(3) 節の目的	快適でくらしやすいまちをつくるため、地区特性等に応じたきめ細かな土地利用方針を確立し、これに即した規制・誘導や良好な基盤整備をすすめます。					
	(4) 施策の目的・展開方向	地区特性等に応じた適正な土地利用を実現するため、市街化区域では、都市計画で定める用途地域などの地域地区を適正に配置するとともに、地区の状況に応じて必要な見直しを行います。また、市街化調整区域では、自然環境の保全・創出に努めるとともに、新たな都市の発展を担う都市的土地利用について検討します。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度				
		何（誰）を対象に	市域				
どういう状態に		地域特性等に応じた適正な土地利用が行われている					
(6) 施策実施上の課題と対応	都市計画では適正な土地利用の誘導を図るため、区域区分、地域地区、都市施設等を定めている。社会情勢の変化や、市のまちづくり方針、都市計画道路の整備進捗等を踏まえながら、適切な土地利用の見直しを行う必要がある。						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 都市の発展を担う都市的 土地利用の実現した地区	指標として、都市の発展を担う都市的土地利用を実現した地区数を選定した。					
	(8) 指標の目標値 と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	地区	1	1	2	1
		実績値		0	1	1	1
		達成率		0.00	100.00	50.00	100.00
	②	目標値					
		実績値					
		達成率					
	③	目標値					
実績値							
達成率							
財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	7,585	934	1,376	499	
		人件費	22,264	21,736	23,056	27,896	
		合 計	29,849	22,670	24,432	28,395	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	7,585	934	1,376	311	
		人件費	22,264	21,736	23,056	27,896	
		合 計	29,849	22,670	24,432	28,207	

### 施策を構成する事務事業

事務事業名	都市計画に関する情報の管理・提供				課名	都市計画課	
指標	用途地域証明書及び納税猶予の特例適用の農地等該当証明書の発行件				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	5	目標値	10	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	18	達成率	180.00				
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	0

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

都市計画法に基づく法定事務であり、事務事業の優先度は高い。

事務事業名	都市計画に関する総合調整				課名	都市計画課	
指標	関係各課との調整実施率(調整完了件数/相談・課題発生件数)				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00				
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	69

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

市のまちづくりの基本に関する事務であり優先度は高い。

事務事業名	都市計画の見直し(決定・変更)事務				課名	都市計画課	
指標	審議案可決率(可決件数/変更案件数)				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00				
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	60

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

市の都市計画の基本に関する事業であり優先度は高い。

事務事業名	都市計画図等の作成・管理事務				課名	都市計画課	
指標	都市計画図・都市計画基本図の販売枚数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	55	目標値	150	単位	枚	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	70	達成率	46.67				
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	96

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

計画的に土地利用を誘導するため本事業は優先度が高いが、市民や事業者が正確な都市計画情報をより迅速に取得できるよう情報提供の方法を見直す必要がある。

事務事業名	都市計画施設に関する建築規制				課名	都市計画課	
指標	届出のあった都市計画法第53条に関する申告書、都市計画法第53				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	4	目標値	10	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	14	達成率	140.00				
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	86

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

本事業は都市計画法に基づく法定業務のため、事業の優先度は高い。

事務事業名	区域区分等に関する都市計画の見直し				課名	都市計画課	
指標	なし				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	0	目標値	0	単位	-	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	0	達成率	0				
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

区域区分等の見直しは、地区特性等に応じた適正な土地利用の実現の根幹をなすものであるから、本事業の優先度は高い。

事務事業名	生産緑地事務				課名	公園緑地課	
指標	申出件数に対し適切に事務処理を行った件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし	
現況値	3	目標値	1	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	2	達成率	200.00				
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

生産緑地法に基づく事務であり、今後も引き続き推進していく。

## 2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
少子・高齢化が進展し人口減少が続く中、我孫子市を持続可能な自立した都市として発展させていくため、住宅都市にふさわしい快適でくらしやすいまちづくりや、まちに活力を生み出す土地利用を進めていくうえで必要な施策である。	①～④ 本施策は、節の目標の根幹を成す手段であり、各事業は施策を推進する上で有効である。 ⑤ 行政が主導する施策であるが、方向性を新たに定める場合は、市民の意見が計画に反映できるよう努めている。 ⑥⑦財政配分、人員配置は適切である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
都市計画で定める用途地域や地区計画、生産緑地地区などの、よりきめ細かな土地利用方針について、今後も引き続き必要な見直しを進めていく必要がある。 新たな都市の発展を担う土地利用について、関係課が策定する計画及び事業の進捗にあわせて、必要となる都市計画関係手続きや調整を進めていく必要がある。	①～④ 部の運営方針、課の目標に沿った施策であり、節の目的達成に効果的な施策である。 ⑤ 地域地区(生産緑地地区)の変更について、案の縦覧手続きを通じ、市民の意見を十分取り入れるよう努めた。 ⑥⑦ 節の目的を達成するためには、更なる取り組みが必要であり、人員体制の強化が必要と考える。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	適正な規制・誘導施策の推進・運用	施策コード	61002	施策主管部課	都市部 市街地整備課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	適正な土地利用の実現			関係課	公園緑地課 農業委員会事務局	
	(3) 節の目的	快適でくらしやすいまちをつくるため、地域特性等に応じたきめ細かな土地利用方針を確立し、それに即した規制・誘導や良好な基盤整備をすすめます。				都市計画課 建築住宅課	
	(4) 施策の目的・展開方向	無秩序な開発を防止し、適正な土地利用を実現するため、都市計画法をはじめとする関係法令や開発行為に関する条例等に基づき、開発行為や建築行為の適正な規制・誘導を進めます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度				
		何（誰）を対象に	宅地開発等事業者に				
どういう状態に		開発行為や建築行為の適切な規制・誘導が行われている。					
(6) 施策実施上の課題と対応	我孫子市開発行為に関する条例及び我孫子市開発行為等運用・審査基準は、実務の積み重ねなど、必要に応じて適宜見直すものとする。						

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 開発許可件数/開発許可申請件数	関係する法令及び条例等に基づいて適正かつ適切に規制の誘導が図られた割合を把握する。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	%	100	100	100	100
		実績値		100	100	100	100
		達成率		100.00	100.00	100.00	100.00
	②	目標値					
		実績値					
		達成率					
	③	目標値					
実績値							
達成率							

財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	17,555	18,742	17,362	16,468
		人件費	117,744	115,368	115,192	109,384
		合 計	135,299	134,110	132,554	125,852
	(10) 実績値 (千円)	事業費	17,555	18,742	17,362	15,869
		人件費	117,744	115,368	115,192	109,384
合 計		135,299	134,110	132,554	125,253	

### 施策を構成する事務事業

事務事業名	開発行為等の紛争に係る調停				課名	都市計画課		
指標	紛争解決率（あっせん申出に至らなかった件数/事前相談件数）				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	45	2,200
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	2,200

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

事業主と住民との調整によって紛争を未然に防止することにより、円滑に適正な土地利用の誘導が図られることから、事業の優先度は高い。

事務事業名	各種届出の受理及び指導業務				課名	建築住宅課		
指標	処理件数/届出件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	113	4,840
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	113	4,840

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

事務事業に貢献しているため、今後も継続すべき事業である。

事務事業名	審査会及び審議会に関する業務				課名	建築住宅課		
指標	許可等の同意答申率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	244	3,960
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	159	3,960

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

建築基準法に基づき、設置が義務付けられている事業である。

事務事業名	長期優良住宅等の認定業務				課名	建築住宅課		
指標	認定処理率				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	113	5,192
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	113	5,192

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

法令に基づく認定制度であり、今後も継続して実施する事業である。

事務事業名	建築に関する指導および審査業務				課名	建築住宅課		
指標	確認及び検査の処理率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	987	9,592
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	987	9,592

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

建築基準法に基づく確認審査業務は、法に審査期間が定められているため、優先的に業務を進める必要がある。

事務事業名	建築基準法に基づく許可及び認定業務				課名	建築住宅課		
指標	処理率（審査交付件数/申請受付件数）				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	113	2,904
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	113	2,904

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、建築基準法に基づく許可及び認定制度により、適正な土地利用を実施するという目標に不可欠な事業であるため今後も引き続き現状通り推進していく。

事務事業名	道路の指定に関する業務				課名	建築住宅課		
指標	道路位置指定率（道路位置指定件数/申請件数）				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0	達成率	0.00			予算額	0	2,464
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	2,464

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

建築基準法に基づく事務のため、今後も継続すべき事業である。

事務事業名	違反建築物の処置業務				課名	建築住宅課		
指標	是正率（当該年度違反是正件数/当該年度違反指導件数）				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	0	目標値	80	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	25	達成率	320.00			予算額	0	3,344
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	3,344

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、違反建築物を未然防止・是正指導をしていく事で、快適で暮らしやすいまちを実現するという施策目的から、今後も継続すべき事業である。



### 施策を構成する事務事業

事務事業名	民間確認検査機関報告書の事務処理業務				課名	建築住宅課		
指標	各種報告書の審査・指導の処理率				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	1,132	9,240
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	1,132	9,240

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

建築基準法に基づく民間確認検査機関からの報告であるため、必須な業務である。

事務事業名	墓地許認可事務				課名	公園緑地課		
指標	審査件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	0	目標値	1	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	1	達成率	100.00			予算額	0	1,320
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	1,320

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

法律及び計画地周辺的生活環境や住民感情を考慮しながら、条例に沿った適切な許可事務を継続、推進していく。

事務事業名	公有地の拡大の推進に関する法律に係る事務				課名	市街地整備課		
指標	処理件数/届出件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0	2,640
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	2,640

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、法令に基づく必要不可欠なものであるため、今後も現状どおり推進していく。

事務事業名	国土利用計画法に基づく土地売買等届出書に係る事務				課名	市街地整備課		
指標	処理件数/土地売買等届出件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0	2,640
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	2,640

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、法令に基づく必要不可欠なものであるため、今後も現状どおり推進していく。

事務事業名	違反宅地開発事業是正指導事務				課名	市街地整備課		
指標	是正件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	0	目標値	5	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0	達成率	0.00			予算額	0	8,360
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	8,360

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、法令に基づく必要不可欠なものであるため、今後も現状どおり推進していく。

事務事業名	都市計画法施行規則第60条に基づく建築証明事務				課名	市街地整備課		
指標	証明率（証明件数/申請件数）				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0	3,080
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	3,080

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、法令に基づく必要不可欠なものであるため、今後も現状どおり推進していく。

事務事業名	都市計画法第29条に基づく開発行為許可事務				課名	市街地整備課		
指標	許可率（許可件数/申請件数）				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	99	14,960
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	25	14,960

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、法令に基づく必要不可欠なものであるため、今後も現状どおり推進していく。

事務事業名	都市計画法第32条に基づく開発行為事前協議事務				課名	市街地整備課		
指標	事前協議締結率（事前協議締結件数/事前協議申請件数）				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0	12,320
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	12,320

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、法令に基づく必要不可欠なものであるため、現状どおり推進していく。

### 施策を構成する事務事業

事務事業名	都市計画法第43条に基づく建築許可事務				課名	市街地整備課		
指標	許可率（許可件数／申請件数）				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0	3,080
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	3,080

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、法令に基づく必要不可欠なものであるため、今後も現状どおり推進していく。

事務事業名	農地利用の適正化				課名	農業委員会事務局		
指標	耕作放棄地への利用意向調査及び違反転用の是正件数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	30	目標値	30	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	18	達成率	60.00			予算額	4,800	8,360
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	4,696	8,360

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

法令により、実施する必要があるため、耕作放棄地解消のため必要な事業である。

事務事業名	農地法3条・4条・5条の許可及び4条・5条の届出				課名	農業委員会事務局		
指標	申請、届出のあった適正な審査執行率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	89	達成率	89.00			予算額	6,720	5,720
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	6,720	5,720

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

法令により、定められた業務であり、農地の乱開発を防止し、優良農地の確保のため必要な業務である。

事務事業名	農業委員会の運営管理				課名	農業委員会事務局		
指標	適正な審議が行われる準備率（現地調査・資料の提供）				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	2,102	3,168
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	1,811	3,168

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

法令で定められている機関であり、農地の保全、農業振興のため必要不可欠である。

## 2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
①、②都市計画法及び建築基準法等で位置付けられている。 ③施策目標は、法及び条例に基づくものであり妥当である。 ④他の法令及び施策との連携を踏まえ施策の推進を図っている。 ⑤許可及び確認事務に関するもののため、市民との直接的な協働はなじまない。 ⑥財源配分は、適切である。 ⑦現状の事務事業では適切な配置である。	①～④節の目標達成のため法令、条例等に基づき実施する事業であり、妥当な施策である。 ⑤許可、確認という行政処分等に係る事業の内容であることから市民との協働は考えられない。 ⑥財源配分は妥当である。 ⑦人員配置は適切である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
①、②都市計画法及び建築基準法等で位置付けられている。 ③施策目標は、法及び条例に基づくものであり妥当である。 ④他の法令及び施策との連携を踏まえ施策の推進を図っている。 ⑤許可及び確認事務に関するもののため、市民との直接的な協働はなじまない。 ⑥財源配分は、適切である。 ⑦現状の事務事業では適切な配置である。	①～④節の目標達成のため法令、条例等に基づき実施する事業であり、妥当な施策である。 ⑤許可、確認という行政処分等に係る事業の内容であることから市民との協働は考えられない。 ⑥財源配分は妥当である。 ⑦人員配置は適切である。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	地区の特性をいかした良好な市街地整備の推進	施策コード	61003	施策主管部課	都市部 市街地整備課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	適正な土地利用の実現			関係課	都市計画課 建築住宅課	
	(3) 節の目的	快適でくらしやすいまちをつくるため、地域特性等に応じたきめ細かな土地利用方針を確立し、それに即した規制・誘導や良好な基盤整備をすすめます。					
	(4) 施策の目的・展開方向	快適でくらしやすいまちをつくるため、地区の特性をいかしながら、地区計画や土地区画整理事業などの手法により、良好な市街地整備を進めます。また、施行中の我孫子駅前土地区画整理事業と布佐駅南側まちづくり事業の早期完了をめざします。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度				
		何（誰）を対象に	市域				
どういう状態に		良好な市街地が整備されている。					
(6) 施策実施上の課題と対応	地区の特性を踏まえた整備手法としては、地区計画を活用したまちづくりが有効と考える。そのため地区計画制度の周知を強化するとともに地区住民の発意による地区計画の促進に努める。事業が長期化している我孫子駅前土地区画整理事業については、平成31年度の換地処分に向け、換地計画認可申請書の作成や千葉県協議、縦覧等の法的手続きを着実に進める。						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 我孫子駅前土地区画整理事業の使用収益開始面積	我孫子都市計画事業に基づく都市基盤整備事業である我孫子駅前土地区画整理事業の早期完了を目指し、換地処分に向けて、全ての土地の使用収益を開始する。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	%	102,656	103,379	103,379	1
		実績値		102,656	102,656	103,379	1
		達成率		100.00	99.30	100.00	100.00
	②	目標値					
		実績値					
		達成率					
	③	目標値					
実績値							
達成率							
財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	521,016	98,491	48,182	19,494	
		人件費	70,488	35,728	35,024	36,608	
		合 計	591,504	134,219	83,206	56,102	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	521,016	98,491	48,182	18,301	
		人件費	70,488	35,728	35,024	36,608	
		合 計	591,504	134,219	83,206	54,909	

### 施策を構成する事務事業

事務事業名	地区計画の推進				課名	都市計画課	
指標	届出のあった地区計画の審査件数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	37	目標値	70	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	33	達成率	47.14			予算額	96
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	64

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

良好な住環境の形成を図る上で重要なため、引き続き継続する。

事務事業名	地区計画条例及び建築協定認可に関する業務				課名	建築住宅課	
指標	適合率				政策・経常	□政策 □経常 ■なし	
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

地区計画条例項目の適合を審査することにより、地道ではあるが地区の特性を生かした良好な市街地整備に貢献していく。

事務事業名	土地区画整理事業の業務全般				課名	市街地整備課	
指標	土地区画整理事業に係る資料の提供・照会件数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	244	目標値	360	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	244	達成率	67.78			予算額	31
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	17

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

過去の成果品に基づく画地画定図の交付については、法務局が公表していないこともあり、今後も需要は高いと考えられる。市街地の土地利用促進の面からも引き続き推進する必要がある。

事務事業名	我孫子駅前土地区画整理事業の推進				課名	市街地整備課	
指標	換地処分				政策・経常	■政策 ■経常 □なし	
現況値	1	目標値	1	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	1	達成率	100.00			予算額	19,362
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	18,219

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

換地処分は行ったが、事業の収束に向けて清算金交付・徴収事務を行う必要がある。また、事業で整備した県道及び国道を千葉県に引継ぐため舗装等の修繕を行う必要がある。

事務事業名	我孫子駅北口土地区画整理事業の推進				課名	市街地整備課	
指標	清算徴収金の徴収割合				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	99	目標値	99	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	99	達成率	100.00			予算額	5
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	1

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

引続き清算金徴収を行う。

事務事業名	まちづくり事業の業務全般				課名	市街地整備課	
指標	まちづくり事業に関する問い合わせ処理件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし	
現況値	2	目標値	1	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	2	達成率	200.00			予算額	0
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

まちづくり事業に関する問い合わせへの対応。まちづくり事業が事業がした際の計画等を行う。

## 2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

### 事前評価

施策主管課長	施策主管部長
①、②都市計画法及び土地区画整理法等で位置付けられている。 ③妥当である。 ④土地区画整理事業等有効な事業を実施している。 ⑤土地区画整理法で、土地区画整理審議会を設置し意見を求める旨定めがあるためなじまない。 ⑥適切である。 ⑦適切である。	①～④部の運営方針、課の目標に沿った施策であり、節の目標達成に効果的な施策である。 ⑤土地区画整理法で、土地区画整理審議会を設置し意見を求める旨定めがあるため、市民との協働は考えられない。 ⑥適切である。 ⑦適切である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



### 事後評価

施策主管課長	施策主管部長
①、②都市計画法及び土地区画整理法等で位置付けられている。 ③妥当である。 ④土地区画整理事業等有効な事業を実施している。 ⑤土地区画整理法で、土地区画整理審議会を設置し意見を求める旨定めがあるためなじまない。 ⑥適切である。 ⑦適切である。	①～④部の運営方針、課の目標に沿った施策であり、節の目標達成に効果的な施策である。 ⑤土地区画整理法で、土地区画整理審議会を設置し意見を求める旨定めがあるため、市民との協働は考えられない。 ⑥適切である。 ⑦適切である。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



### 2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	公園の整備・充実と適切な維持管理	施策コード	62101	施策主管部課	都市部公園緑地課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	公園・緑地の整備・充実			関係課		
	(3) 節の目的	公園・緑地の適正な機能と配置に配慮し、より身近で親しみやすい空間として整備するとともに、維持管理のしくみを工夫します。					
	(4) 施策の目的・展開方向	公園・緑地が持つ機能に配慮し、市内に残る貴重な樹林地や城跡、古墳などの歴史的・文化的資源を活用しながら、市街地で公園が不足している一部の区域において公園の整備を検討します。また、誰もが安心して利用できるよう公園のバリアフリー化を進めるとともに、主要公園における遊具の充実を図り、子どもたちも魅力を感じる公園づくりを行います。さらに、老朽化した公園施設の計画的な補修など適切な維持管理に努めます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度				
		何（誰）を対象に	公園・緑地				
どういう状態に		公園・緑地の機能と配置に配慮した整備がされている					
(6) 施策実施上の課題と対応	地域ごとの公園の設置状況を検証し、適正な配置に努める						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 公園の数	公園の配置の確認					
	② 公園・緑地の面積	公園・緑地の面積の拡大					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	箇所	217	218	219	220
		実績値		217	218	219	221
		達成率		100.00	100.00	100.00	100.45
	②	目標値	ha	150.2	150.3	150.4	150.5
		実績値		150.14	150.24	150.32	150.67
		達成率		99.96	99.96	99.95	100.11
③	目標値						
	実績値						
	達成率						
財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	213,897	365,838	239,775	297,085	
		人件費	68,024	64,152	61,952	66,792	
		合 計	281,921	429,990	301,727	363,877	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	213,897	365,838	239,775	272,808	
		人件費	68,024	64,152	61,952	66,792	
合 計		281,921	429,990	301,727	339,600		

### 施策を構成する事務事業

事務事業名	緑の基本計画の進行管理				課名	公園緑地課	
指標	見直した緑の基本計画での基本方針に則り、施策を実行する。				政策・経常	□政策 □経常 ■なし	
現況値	1	目標値	1	単位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	1	達成率	100.00				
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	予算額	0
						実績値	0
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

都市計画法に基づく決定計画であり、緑を総合的かつ計画的に確保していく上で必要である。

事務事業名	市民の森維持管理				課名	公園緑地課	
指標	適切に維持管理された緑地面積				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	3	目標値	4	単位	ha	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	4	達成率	100.00				
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	予算額	7,392
						実績値	7,108
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

みどりを育て守っていくためには市民の協力も必要であり、貢献度は高い。

事務事業名	気象台記念公園の整備				課名	公園緑地課	
指標	公園の整備面積率				政策・経常	■政策 □経常 □なし	
現況値	77	目標値	77	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	77	達成率	100.00				
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	予算額	2,119
						実績値	2,042
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

現状通り推進していく必要がある。

事務事業名	公園のバリアフリー化推進				課名	公園緑地課	
指標	バリアフリー化修繕工事による快適な大規模公園数				政策・経常	■政策 □経常 □なし	
現況値	10	目標値	11	単位	箇所	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	10	達成率	90.91				
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	予算額	39,987
						実績値	39,388
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

誰もが安心して利用できるよう、まだバリアフリー化されていない公園のバリアフリー化を進めていく。

事務事業名	公園施設維持管理				課名	公園緑地課	
指標	多くの市民が安心して利用できる施設の公園面積				政策・経常	■政策 ■経常 □なし	
現況値	150	目標値	150	単位	ha	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	150	達成率	100.00				
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	予算額	29,609
						実績値	29,522
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

現状通り、良好な公園・緑地を維持できるように事務を推進していく。

事務事業名	公園維持管理				課名	公園緑地課	
指標	多くの市民が快適に利用できるための公園維持管理面積				政策・経常	■政策 ■経常 □なし	
現況値	150	目標値	150	単位	ha	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	150	達成率	100.00				
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	予算額	217,978
						実績値	194,748
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

公園・緑地の管理を推進していく必要がある。

事務事業名	公園許可事務				課名	公園緑地課	
指標	都市公園内の行為、占用、設置管理の申請件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし	
現況値	327	目標値	400	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	327	達成率	81.75				
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	予算額	0
						実績値	0
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

都市公園法に基づき、各種申請に対して適正に対応していく必要がある。

事務事業名	公園の整備				課名	公園緑地課	
指標	公園候補地の検討・公園施設整備の検討				政策・経常	□政策 □経常 ■なし	
現況値	0	目標値	1	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	1	達成率	100.00				
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	予算額	0
						実績値	0
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

現状通り推進していく必要がある。



## 2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
①施策が有効な手段となっている。 ②市民ニーズに適合している。 ③妥当である。 ④施策を推進している。 ⑤配置の均衡は行政の責任として実施する必要がある。 ⑥適切である。 ⑦適切である。	①～④本施策は、節の目標達成に効果的な手段であり、各事業は施策推進に有効である。 ⑤行政が主導する施策である。 ⑥⑦税源配分、人員配置は適切である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
樹林地や文化・歴史資源を活かしながら、公園を安全に適切に利用できるようにするための施策であり、目的達成に効率的な手段となっている。今後も公園等の適正な配置を検討していく必要がある。	①～④緑地・文化・歴史資源を活かしながら、市民が公園を安全に快適に利用できるようにすることを目的とした本施策は、部の運営方針、課の目標に沿っており、節の目的達成に効果的な施策である。また、実施した事業は、施策推進に有効であった。 ⑤行政が主導する施策である。 ⑥⑦節の目的を達成するためには、さらなる取り組みが必要であり、財源配分、人員配分の強化が必要と考える。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	市民の自主的な活動への支援	施策コード	62102	施策主管部課	都市部 公園緑地課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	公園・緑地の整備・充実			関係課	
	(3) 節の目的	公園・緑地の適正な機能と配置に配慮し、より身近で親しみやすい空間として整備するとともに、維持管理のしくみを工夫します。				
	(4) 施策の目的・展開方向	より身近で親しみやすい公園とするため、地域住民の主体的な公園づくり活動を支援するとともに、公園管理における市民の自主的な活動を広げていきます。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度			
		何（誰）を対象に	地域住民			
どういう状態に		市民による公園づくりや自主的な管理が広がっている				
(6) 施策実施上の課題と対応	より多くの市民参加を得るため、参加機会を創出するとともに、参加へのきっかけとなる情報の提供方法を工夫する					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 市民手づくり公園の活動団体数	団体を増やすことが自主的な公園づくりの推進となる					
	② 市民手づくり公園の数	活動公園を増やすことが自主的な公園づくりの推進となる					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	団体	10	14	17	20
		実績値		9	10	10	10
		達成率		90.00	71.43	58.82	50.00
	②	目標値	箇所	14	16	20	25
		実績値		11	12	12	12
		達成率		78.57	75.00	60.00	48.00
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	2,221	2,538	2,298	2,253
		人件費	3,960	3,960	3,520	3,520
		合 計	6,181	6,498	5,818	5,773
	(10) 実績値 (千円)	事業費	2,221	2,538	2,298	2,164
		人件費	3,960	3,960	3,520	3,520
合 計		6,181	6,498	5,818	5,684	

### 施策を構成する事務事業

事務事業名					市民手づくり公園事業		課名	公園緑地課	
指標					既存活動団体の継続維持		政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	100	目標値	100		単位	%	事業費(千円)		正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00				予算額	839	2,200
事務事業の施策への貢献度					○高い ●普通 ○低い		評価	現状	実績値
								750	2,200

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

現状どおり推進する必要がある。

事務事業名					公園清掃（自治会委託）		課名	公園緑地課	
指標					多くの市民が快適に利用できるための公園清掃・管理箇所数		政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	74	目標値	74		単位	箇所	事業費(千円)		正職員人件費(千円)
実績値	74	達成率	100.00				予算額	1,414	1,320
事務事業の施策への貢献度					○高い ●普通 ○低い		評価	現状	実績値
								1,414	1,320

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

高齢化により委託継続できない自治会がでてきており、今後の検討課題となっている。

## 2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

### 事前評価

施策主管課長	施策主管部長
①目的達成に貢献している。 ②市民ニーズに適合している。 ③妥当である。 ④施策を推進している。 ⑤既に進めている。 ⑥適切である。 ⑦適切である。	①～④本施策は、節の目標達成に効果的な手段であり、各事業は施策推進に有効である。 ⑤協働で推進している。 ⑥⑦財源配分、人員配置は適切である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



### 事後評価

施策主管課長	施策主管部長
より身近で親しみやすい公園とするため、地域住民の主体的な公園づくり活動の支援、自治会の公園管理を広げていきます。	①～④部の運営方針、課の目標に沿った施策であり、節の目的達成に効果的な施策である。また、実施した事業は、施策推進に有効であった。 ⑤地域住民の主体的な公園づくりや、公園の管理を自治会に委託するなど、市民と協働で実施した。 ⑥⑦財源配分、人員配分ともに適正であった。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



### 2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	下水道施設の整備と維持管理	施策コード	62201	施策主管部課	建設部 下水道課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	下水道整備の推進			関係課	
	(3) 節の目的	衛生的で快適な生活環境を保ち、河川や沼の水質を改善するため、下水道の整備をすすめるとともに、その普及に努めます。				
	(4) 施策の目的・展開方向	衛生的で快適な生活環境を確保するため、市街化区域内の下水道整備を計画的に進めるとともに、既存施設の耐震化やマンホールトイレシステムの整備を行います。また、老朽化に伴う改修や不明水によるマンホールからの汚水の噴出防止など、適切な維持管理を進めるとともに、計画的な改築に取り組みます。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度			
		何（誰）を対象に	市街化区域の下水道未整備区域			
どういう状態に		下水道整備が進んでいる。				
(6) 施策実施上の課題と対応	下水道に対する社会資本整備総合交付金が削減している中で、下水道整備費及び管渠の老朽化に伴う改築更新等の財源確保は非常に厳しくなるため、今後の下水道事業のあり方は、財政規模に適した形で対応する必要がある。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 下水道の整備率	整備率を指標とすることで施策目標を数値化できるため。					
	② 下水道の普及率	施策の進捗が数値化できるため。					
	③ 重要な管渠の地震対策実施率	地震対策延長を指標とすることで施策目標を数値化できるため。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	%	55.3	55.8	56.5	57
		実績値		55.7	56.4	56.6	56.9
		達成率		100.72	101.08	100.18	99.82
	②	目標値	%	83.2	83.4	84.3	84.8
		実績値		83.5	84.1	84.5	84.6
達成率		100.36		100.84	100.24	99.76	
③	目標値	m	12,730	15,566	18,009	18,009	
	実績値		12,691	14,621	17,163	17,163	
	達成率		99.69	93.93	95.30	95.30	

財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	528,062	411,864	288,675	181,256
		人件費	46,640	44,880	47,960	50,160
		合 計	574,702	456,744	336,635	231,416
	(10) 実績値 (千円)	事業費	528,062	411,864	288,675	172,182
		人件費	46,640	44,880	47,960	50,160
合 計		574,702	456,744	336,635	222,342	



**施策を構成する事務事業**

事務事業名	社会資本総合整備計画の推進				課名	下水道課		
指標	公共下水道管渠布設延長				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	213	目標値	161	単位	m	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	213	達成率	132.30			予算額	0	6,160
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	6,160

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

公共下水道の整備に必要な事業であるため、事業の優先度は高い。

事務事業名	排水設備の審査及び竣工検査				課名	下水道課		
指標	排水設備新設等確認申請書審査件数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	521	目標値	530	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	521	達成率	98.30			予算額	17,159	1,760
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	14,175	1,760

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

下水道排水設備基準にあった適切な検査を実施し、災害等を未然に防止する。

事務事業名	汚水中継ポンプ場維持管理				課名	下水道課		
指標	ポンプ施設の維持管理を適切に行い、トラブル等で稼働停止を未然に				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	244	目標値	244	単位	日	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	244	達成率	100.00			予算額	9,831	3,520
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	8,783	3,520

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

ポンプ施設の保守点検及びオーバーホール等を計画的に実施していく。

事務事業名	汚水管渠維持管理事業				課名	下水道課		
指標	下水道施設の市管理部分の苦情件数対応(苦情解決件数/苦情件数)				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	136	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	136	達成率	136.00			予算額	45,780	3,080
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	42,894	3,080

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

下水道管渠の早急な修繕を実施し、災害等を未然に防止する。

事務事業名	総合地震対策事業				課名	下水道課		
指標	実施設計業務委託の進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	18,000	3,960
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	18,000	3,960

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

下水道総合地震対策計画に基づき事業を進めており、優先度は高い。

事務事業名	湖北駅北口西側地区の整備				課名	下水道課		
指標	舗装復旧工事の進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	5,300	2,640
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	3,144	2,640

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

当該地区の下水道整備は、継続的に進めており、事業の優先度は高い。

事務事業名	下ヶ戸西側地区の整備				課名	下水道課		
指標	マンホールポンプ設置工事の進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	26,376	3,080
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	26,376	3,080

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

当該地区の下水道整備は、継続的に進めており、事業の優先度は高い。

事務事業名	青山地区の流域下水道への接続事業				課名	下水道課		
指標	圧送管・流入管閉塞実施設計業務委託の進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	3,300	3,520
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	3,300	3,520

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

下水道管の破損が原因で交通障害等を引き起こさないよう圧送管、流入管の閉塞は必要なため、優先度の高い事業である。

### 施策を構成する事務事業

事務事業名	布佐駅東側地区の整備				課名	下水道課		
指標	公共下水道管渠布設延長				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	130	目標値	80	単位	m	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	130	達成率	162.50			予算額	11,736	2,200
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	11,736	2,200

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

当該地区は、地元からの下水道整備の要望が強く、事業の優先度は高い。

事務事業名	湖北駅北口東側地区の整備				課名	下水道課		
指標	公共下水道管渠布設延長				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	252	目標値	224	単位	m	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	252	達成率	112.50			予算額	24,037	1,760
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	24,037	1,760

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

当該地区の下水道整備は、継続的に進めており、事業の優先度は高い。

事務事業名	高野山地区の整備				課名	下水道課		
指標	関係機関との調整協議、現地調査の進捗率				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0	440
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	440

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

当該地区は、地元からの下水道整備の要望が強く、事業の優先度は高い。

事務事業名	下ヶ戸北側地区の整備				課名	下水道課		
指標	関係機関との調整協議、現地調査の進捗率				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0	880
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	880

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

当該地区は、地元からの下水道整備の要望が強く、事業の優先度は高い。

事務事業名	下水道ストックマネジメント事業				課名	下水道課		
指標	ストックマネジメント計画策定業務委託の進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	16,102	5,720
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	16,102	5,720

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

今後、持続可能な下水道事業の実現を目的に、明確な目標を定め、膨大な施設の状況を客観的に把握、評価し、長期的な施設の状態を予測しながら、下水道施設を計画的かつ効率的に管理するため、優先度は高い。

事務事業名	久寺家污水中継ポンプ場の圧送管閉塞事業				課名	下水道課		
指標	現地調査の進捗率				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0	1,320
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	1,320

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

久寺家污水中継ポンプ場の運転停止に伴い、未使用の管渠を閉塞する必要があり、事業の優先度は高い。

事務事業名	久寺家1・2丁目地区不明水対策事業				課名	下水道課		
指標	不明水詳細調査解析（取付管）業務委託の進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	3,635	4,400
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	3,635	4,400

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

事業の優先度は高い。

事務事業名	新木野4丁目地区不明水対策事業				課名	下水道課		
指標	現況調査及び住民との調整・協議の進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0	3,960
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	3,960

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

地元からの改善要望も強く、事業の優先度は高い。今後、基礎調査を行い実態を把握する。

**施策を構成する事務事業**

事務事業名	久寺家1・2丁目地区の整備				課名	下水道課	
指標	現地調査及び占用者協議の進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし	
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0 880


事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

当該地区の汚水は、ポンプ排水で圧送されて久寺家処理場で処理されているが、効率的な維持管理を行えるようにポンプ排水から自然流下に切り替える必要があるため、事業の優先度は高い。

## 2. 施策のチェック (DO+CHECK)


施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

### 事前評価

<b>施策主管課長</b> ・下水道の整備率は、社会資本整備総合交付金の削減、財源減少等により財政規模に見合ったものとする。 ・下水道施設の維持管理は、不明水対策を含めた下水道施設の老朽化対策が必要となり、ストックマネジメント計画を策定し、今後重点的に実施していく必要がある。 ・地震対策は、下水道総合地震計画に基づいて、平成31年度はマンホールの浮上防止やマンホールトイレシステム設置の実施設計業務を進める必要がある。	<b>施策主管部長</b> ・市の財政状況を考慮すると、今後の下水道整備率は、緩やかな伸びにせざるを得ないが、快適な生活環境を確保するため、効率的な整備方針が求められる。また、不明水を含めた下水道施設の老朽化対策は重要な施策であり、限られた財源の中で効果的かつ効率的に維持管理を実施していく必要がある。 ・地震対策は、引き続き、小学校へのマンホールトイレシステムの設置とマンホール浮上防止を実施していく必要がある。
<b>行政評価委員会</b>	<b>施策展開の改善点と展開方向</b>
	




### 事後評価

<b>施策主管課長</b> ・下水道の整備率は、財源減少等により緩やかな伸びを示しており、効率的な下水道整備を進めていく必要がある。 ・下水道の維持管理については、今年度策定したストックマネジメント実施方針に基づき、下水道施設を計画的かつ効率的に維持管理していくとともに、不明水対策も実施していく必要がある。 ・地震対策は、緊急輸送路に埋設された下水道の流下確保を目的としたマンホール浮上防止工事や、避難所に指定されている小学校にマンホールトイレを設置していく必要がある。	<b>施策主管部長</b> ・市の厳しい財政状況の中、下水道整備率の大幅な伸びが望めないことから、限られた財源を有効活用し、今後も計画的に未普及地区の整備を実施していく必要がある。 ・既設下水道施設については、ストックマネジメント実施方針に基づき、下水道施設を計画的かつ効率的に維持管理していくとともに、不明水対策に関する点検・調査を実施していく必要がある。 ・地震対策は、既存施設の耐震化と避難所に指定されている小学校にマンホールトイレを設置していく必要がある。
<b>改善検討</b>	<input type="radio"/> 要 <input checked="" type="radio"/> 不要
<b>施策展開の改善点と展開方向</b>	
	



### 2次評価

<b>行政評価委員会</b>	<b>施策展開の改善点と展開方向</b>
	

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	下水道事業の健全経営の確保	施策コード	62202	施策主管部課	建設部 下水道課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	下水道整備の推進			関係課		
	(3) 節の目的	衛生的で快適な生活環境を保ち、河川や沼の水質を改善するため、下水道の整備をすすめるとともに、その普及に努めます。					
	(4) 施策の目的・展開方向	下水道事業の健全経営を確保するため、未接続世帯への働きかけにより水洗化率を高めるとともに、下水道使用料や受益者負担金の未納者への督促を強化し、増収に努めます。また、地方公営企業法の適用に取り組みます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度				
		何（誰）を対象に	下水道事業				
どういう状態に		健全に経営されている。					
(6) 施策実施上の課題と対応	現在は、財政規模に適した形で下水道整備を実施しているが、今後は公営企業会計の適用を実施し、建設から維持への施策転換を図るとともに下水道使用料の徴収率向上を目指し、自主財源の確保を図る。						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 水洗化率	供用開始区域について排水整備の早期設置を促し、下水道の利用率を上げ、下水道使用料の増額を図る。					
	② 下水道使用料の徴収率	下水道使用料徴収率の向上を図るため。					
	③ 受益者負担金の徴収率	下水道受益者負担金徴収率の向上を図るため。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	%	99.5	99.5	99.5	99.5
		実績値		99.2	98.8	98.7	98.9
		達成率		99.70	99.30	99.20	99.40
	②	目標値	%	99	99	99	99
		実績値		99	99	99	95
達成率		100.00		100.00	100.00	95.96	
③	目標値	%	95	95	95	95	
	実績値		94.8	96.8	97.4	98.6	
	達成率		99.79	101.89	102.53	103.79	
財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	872,840	899,822	885,818	953,993	
		人件費	38,720	48,400	48,840	56,760	
		合 計	911,560	948,222	934,658	1,010,753	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	872,840	899,822	885,818	943,845	
		人件費	38,720	48,400	48,840	56,760	
合 計		911,560	948,222	934,658	1,000,605		



### 施策を構成する事務事業

事務事業名	水洗化の普及促進				課名	下水道課		
指標	利子補給件数				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	0	目標値	2	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0	達成率	0.00			予算額	112	880
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	57	880

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

事業の優先度は高い。

事務事業名	下水道排水設備指定工事店申請業務				課名	下水道課		
指標	指定工事店の指定期間満了による更新(申請)と新規の申請。				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	28	目標値	34	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	28	達成率	82.35			予算額	500	1,760
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	500	1,760

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

排水設備工事の適正施工を確保できる指定工事店関係書類申請に係る内容業務は重要である。

事務事業名	健全経営を優先した下水道計画の確立				課名	下水道課		
指標	下水道処理人口普及率:我孫子市内でどれぐらいの割合の人が下水道				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	84	目標値	84	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	84	達成率	100.00			予算額	371	3,520
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	248	3,520

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

健全な下水道経営のために、下水道計画の確立は必要である。

事務事業名	開発行為協議・区域外流入協議				課名	下水道課		
指標	開発行為事前協議回答と区域外流入許可の平均件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	12	目標値	5	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	12	達成率	41.67			予算額	0	5,280
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	5,280

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

公共下水道事業を適切に進めていくため、事業者に対する指導、許認可は必要不可欠である。

事務事業名	下水道事業受益者負担金の賦課徴収				課名	下水道課		
指標	下水道事業受益者負担金の過年度滞納繰越額及び現年度賦課額に対する				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	98.6	目標値	94	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	98.6	達成率	104.89			予算額	1,850	4,400
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	1,670	4,400

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

下水道事業の建設費に充てるため、今後も引き続き行っていく

事務事業名	下水道使用料の賦課徴収業務				課名	下水道課		
指標	下水道使用料の過年度滞納繰越額及び及び現年度調定額に対する徴収				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	95	目標値	97	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	95	達成率	97.94			予算額	100,557	6,160
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	91,704	6,160

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

下水道事業の経営健全化のため、下水道使用料の賦課・徴収業務は必要であった。

事務事業名	予算・決算業務による経営分析				課名	下水道課		
指標	下水道事業の汚水処理費に対する使用料回収率				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	87	目標値	90	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	87	達成率	96.67			予算額	0	4,840
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	4,840

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

下水道事業の経営状況を把握するためには、決算による経営分析は有効な手段である。

事務事業名	公共下水道事業供用開始				課名	下水道課		
指標	公示回数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	1	目標値	1	単位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	1	達成率	100.00			予算額	653	3,520
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	653	3,520

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

市が整備した下水道について、迅速に整備箇所を把握し、下水道の共用箇所を正確に公示する必要がある

### 施策を構成する事務事業

事務事業名 流域下水道建設負担金の調整協議					課 名 下水道課				
指 標 千葉県との建設負担金についての協議回数					政策・経常 <input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし				
現況値	1	目標値	1	単 位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	1	達成率	100.00			予算額	28,978	3,080	
事務事業の施策への貢献度 <input type="radio"/> 高い <input checked="" type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い					評価	現状	実績値	28,978	3,080

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

今後も千葉県と協議しながら手賀沼流域下水道の整備事業を進め、汚水が適切に処理され、衛生的で快適な生活環境を形成し、公共水域の水質を保全することに資する。

事務事業名 流域下水道維持管理負担金の調整協議					課 名 下水道課				
指 標 千葉県との維持管理負担金についての協議回数					政策・経常 <input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし				
現況値	1	目標値	1	単 位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	1	達成率	100.00			予算額	776,559	2,200	
事務事業の施策への貢献度 <input type="radio"/> 高い <input checked="" type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い					評価	現状	実績値	776,558	2,200

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

今後も我孫子市から排出される汚水の処理について千葉県と協議する。

事務事業名 消費税及び地方消費税の申告・納税					課 名 下水道課				
指 標 適正な納税をするための、確定申告を行う回数。					政策・経常 <input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし				
現況値	1	目標値	1	単 位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	1	達成率	0			予算額	19,189	5,280	
事務事業の施策への貢献度 <input type="radio"/> 高い <input checked="" type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い					評価	現状	実績値	19,189	5,280

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

課税事業者であるため、消費税及び地方消費税の申告は当然行うべき事業である。

事務事業名 地方公営企業法適用化事業					課 名 下水道課				
指 標 地方公営企業法適用化に係る委託業務の進捗率					政策・経常 <input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし				
現況値	100	目標値	100	単 位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	100	達成率	100.00			予算額	25,224	14,960	
事務事業の施策への貢献度 <input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い					評価	その他	実績値	24,288	14,960

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

令和2年4月1日に地方公営企業法の適用を受け、経営成績や財政状況などの自らの経営状況を正確に把握することが可能となった。成果である固定資産調査等を活用し、更なる経営の健全化を図る。

事務事業名 下水道事業経営戦略策定事業					課 名 下水道課				
指 標 「我孫子市下水道事業経営戦略」の見直しの検討					政策・経常 <input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし				
現況値	1	目標値	1	単 位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	1	達成率	100.00			予算額	0	880	
事務事業の施策への貢献度 <input type="radio"/> 高い <input checked="" type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い					評価	現状	実績値	0	880

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

経営戦略の見直しは下水道事業の安定のために、欠くことができない。公営企業法適用を受け、経営成績や財政状況を正確に把握したうえで、経営戦略の見直しを行っていく。

## 2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
<p>公共下水道事業(汚水)の主な財源は、下水道使用料、一般会計からの繰入金、市債である。</p> <p>健全な経営を行うためには、自主財源となる使用料の見直し、経費の削減等が重要な課題である。</p> <p>歳入の増額については、水洗化率や使用料の徴収率の向上が重要となる。</p> <p>2020年4月からの公共下水道事業の地方公営企業化に向け、会計手法の変更、関係各課調整等様々な取り組みが重要となっている。</p>	<p>衛生的で快適な生活環境を確保する上で、公共下水道事業は必要不可欠であり、都市計画事業の中でも重要な事業である。</p> <p>このことから、公共下水道事業の健全経営のために使用料の見直しや水洗化の普及促進は特に重要である。</p> <p>公共下水道事業の地方公営企業化については、現在の会計手法、組織の在り方も変化することから、全庁的な取り組みを行うことが必要である。</p>
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
<p>歳入の確保については、下水道使用料や受益者負担金の滞納者への督促・催告等を行い、また未接続世帯の解消を図ることで、歳入の増収に努めていく必要がある。</p> <p>令和2年度からの公営企業会計化によって、事業の経営状況や資産等をより正確に把握することが可能となる。下水道事業を安定的に経営していくために経営戦略を見直し、併せて下水道使用料の検討を行う必要がある。</p>	<p>下水道事業の健全経営を維持していくために、水洗化率の向上、使用料や受益者負担金の徴収を強化していく必要がある。</p> <p>令和2年度からの公営企業会計化により、下水道事業の透明化や効率化、経営基盤の強化を図り、健全な下水道経営を維持するために、定期的の使用料が適正であるかを検証をしていく必要がある。</p>
改善検討	
○要 ●不要	
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	安全な水の安定供給と環境負荷低減に向けた取り組み	施策コード	62301	施策主管部課	水道局 工務課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	上水道の安定供給			関係課	経営課 健康づくり支援課	
	(3) 節の目的	安全な水を安定して供給するため、災害時を含めた確実な水の確保や、効率的な水道経営に努めます。					
	(4) 施策の目的・展開方向	安全な水を安定的に供給するため、水質管理の充実や高度処理施設の効率的な運用、水源の安定確保や施設の耐震化などの整備を進めます。また、災害時等における応急給水体制を強化するとともに、環境に配慮し、水道システムの効率化を進め、エネルギーの省力化を図ります。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度				
		何（誰）を対象に	市民				
どういう状態に		安全な水が安定して供給されている					
(6) 施策実施上の課題と対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道普及率の向上のため、未給水地区への配水管の新設を行う。</li> <li>・災害・事故対策の強化のため、浄水場及び管路の耐震化を進める。</li> <li>・有収率の向上のため、給水管の漏水調査を反映した修繕を行う。</li> </ul>						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 水道普及率（給水人口/給水区域内人口）	水道普及率の向上により、安全な水の安定供給に努める。					
	② 有収率（有収水量/給水量）	有収率の向上により、水道経営の安定と水資源の節約に努める。					
	③ 管路耐震適合化率	管路の耐震化により、地震・災害に強い水道管路網を構築する。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値		95	95	95	95
		実績値	%	93.1	92.9	93.2	93.5
		達成率		98.00	97.79	98.11	98.42
	②	目標値		97.7	97.7	97.7	97.7
		実績値	%	96.8	95.7	95.3	95
達成率			99.08	97.95	97.54	97.24	
③	目標値		39	41	43	45	
	実績値	%	39.6	40.9	41.8	42.9	
	達成率		101.54	99.76	97.21	95.33	
財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	1,036,986	1,289,106	1,160,805	1,603,269	
		人件費	90,640	88,000	85,976	88,616	
		合 計	1,127,626	1,377,106	1,246,781	1,691,885	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	1,036,986	1,289,106	1,160,805	1,255,404	
		人件費	90,640	88,000	85,976	88,616	
合 計		1,127,626	1,377,106	1,246,781	1,344,020		



### 施策を構成する事務事業

事務事業名	専用水道・簡易専用水道・小規模水道の管理等指導事業				課名	健康づくり支援課	
指標	基準を満たしている専用水道施設の割合				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00				
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	30
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

現状どおり推進

事務事業名	貯水槽水道の衛生管理指導				課名	経営課	
指標	貯水槽水道指導件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし	
現況値	10	目標値	10	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	10	達成率	100.00				
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

本事業は、貯水槽水道の衛生管理に関して有効であることから、今後も引き続き指導・助言を行っていく。

事務事業名	指定給水装置工事事業者の審査				課名	経営課	
指標	審査による指定率				政策・経常	□政策 □経常 ■なし	
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00				
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	27
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

指定給水装置工事事業者制度の維持・推進に不可欠なため、今後も引き続き事業を推進していく。

事務事業名	給水装置工事監理				課名	経営課	
指標	審査指導後の工事承認率				政策・経常	□政策 □経常 ■なし	
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00				
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	50
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

給水装置は、水道施設の根幹をなす施設の一つであり、その工事の審査・指導を行うことは極めて重要なことであることから、今後も引き続き事業を推進していく。

事務事業名	量水器取替・修繕業務				課名	経営課	
指標	メータ交換実績				政策・経常	□政策 □経常 ■なし	
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00				
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	65,029
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

量水器は水道料金調定の基となる使用水量を計る重要な装置であり、正確を期すために計量法に則て適正に交換を実施していくことは極めて重要事項であることから、今後も確実に実施していく必要がある。

事務事業名	直結・増圧給水の普及促進				課名	経営課	
指標	指導数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし	
現況値	5	目標値	10	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	5	達成率	50.00				
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	561
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

直結給水方式については、広報活動等により水道利用者の認識が高まってきており、貯水槽水道からの切り替えも増えてきている。これにより、水道の衛生管理の質も向上してきている。

事務事業名	給水装置の維持管理				課名	経営課	
指標	給水装置維持点検・修繕数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし	
現況値	140	目標値	130	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	102	達成率	127.45				
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	8,097
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

水道を安心して利用していただくためには、水道利用者自身にも給水装置に関する基礎的な知識を持っていただく必要があり、その情報を水道局が主体となって発信していくことは必要である。

事務事業名	漏水防止事業				課名	経営課	
指標	調査件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし	
現況値	5,000	目標値	5,000	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	5,000	達成率	100.00				
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	6,782
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

有収率を向上させ健全な水道事業運営を行うためには、無効水量を抑えなければならない。このため、無効水量の大部分を占める漏水を早期に発見し修繕することは重要である。

### 施策を構成する事務事業

事務事業名	応急給水体制の充実				課名	経営課		
指標	応急給水訓練を実施した自主防災組織等の数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	4	目標値	4	単位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	3	達成率	75.00			予算額	394	1,320
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	306	1,320

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

災害時には局職員だけでは応急給水を実施することは困難であることから、市民の手による応急給水の実施は不可欠である。応急給水体制を整備するためには必要な事業であるから、今後も引き続き推進していく。

事務事業名	浄水場施設の更新業務				課名	工務課		
指標	設備機器更新工事の進捗率				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	89	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	89	達成率	89.00			予算額	745,754	4,928
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	527,678	4,928

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

水の安定供給には計画的な設備更新が必要なため事業の優先度は高い

事務事業名	浄水場系包括委託業務				課名	工務課		
指標	浄水場における不具合修理件数/浄水場における不具合発見件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	105,448	4,928
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	105,317	4,928

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

安全でおいしい水の安定供給に欠かすことのできない事業であるため優先度は高い。

事務事業名	経年劣化水道管路の更新改良・耐震化				課名	工務課		
指標	経年劣化管路・更新布設延長距離(m)				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	2,547	目標値	5,473	単位	m	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	5,333	達成率	97.44			予算額	512,270	12,408
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	446,427	12,408

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

水の安定供給には経年劣化管路の計画的な更新(布設替え)が必要であることから事業の優先度は高く現状どおり推進していく。

事務事業名	水質管理業務				課名	工務課		
指標	水質基準適合率				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	5,793	4,048
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	5,462	4,048

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

水質検査は水道法により義務付けられているため事業の優先度は高い。

事務事業名	配水管路自己施行工事の指導・検査				課名	工務課		
指標	適正に審査・指導・検査を実施した件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	15	目標値	15	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	14	達成率	93.33			予算額	0	4,928
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	4,928

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

自己施行工事の品質確保のため、適正な指導・検査は不可欠であることから事業の優先度は高く現状どおり推進していく。

事務事業名	配水管路の新設・拡張整備				課名	工務課		
指標	配水管新設延長距離(m)				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	500	単位	m	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0	達成率	0.00			予算額	45,000	7,568
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	7,568

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

需要者の要望事由(都市開発・井戸不良等)を精査し、未普及地区へ水道管路施設整備を実施する事業であることから優先度は高く現状どおり推進していく。

事務事業名	水道管路施設維持修繕				課名	工務課		
指標	維持修繕工事件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	50	目標値	50	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	47	達成率	106.38			予算額	20,000	4,488
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	12,518	4,488

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

水の安定供給には適切な施設管理や突発的な事故(漏水・濁水)対応が必要であることから事業の優先度は高く、現状どおり維持していく。



### 施策を構成する事務事業

事務事業名 管路情報管理システム運用					課名	工務課	
指標	データ更新距離 (m)				政策・経常	□政策 □経常 ■なし	
現況値	4,884	目標値	5,973	単位	m	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	5,333	達成率	89.29			予算額	5,343
事務事業の施策への貢献度					●高い ○普通 ○低い	評価	現状
実績値					5,343	2,728	
事務事業のあり方 (事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							
管路施設に係る資産管理や整備計画、事故対応等の業務について、システムのデータ更新は不可欠のことから事業の優先度は高く、現状とおり推進していく。							
事務事業名 浄水場施設の維持管理業務					課名	工務課	
指標	浄水場無事故割合 ( (浄水場数 - 浄水場停止事故件数) / 浄水場数 )				政策・経常	□政策 □経常 ■なし	
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00			予算額	70,693
事務事業の施策への貢献度					○高い ●普通 ○低い	評価	現状
実績値					66,871	4,928	
事務事業のあり方 (事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							
安全で安心な水を供給していくために施設の保守・修繕等の維持管理は必要不可欠なことから現状とおり推進していく							
事務事業名 基幹水道管路の更新改良・耐震化					課名	工務課	
指標	基幹管路基礎調査延長距離 (m)				政策・経常	□政策 □経常 ■なし	
現況値	0	目標値	6,720	単位	m	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	6,720	達成率	100.00			予算額	6,143
事務事業の施策への貢献度					●高い ○普通 ○低い	評価	現状
実績値					4,906	10,208	
事務事業のあり方 (事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							
水の安定供給には基幹管路の計画的な更新 (布設替え) が必要であったことから事業の優先度は高く現状とおり推進していく。							
事務事業名 適正な取受配水管理					課名	工務課	
指標	水源余裕率 ( (確保している水源水量 / 一日最大配水量) - 1 ) × 1				政策・経常	□政策 □経常 ■なし	
現況値	35	目標値	35	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	35	達成率	100.00			予算額	0
事務事業の施策への貢献度					○高い ●普通 ○低い	評価	現状
実績値					0	5,808	
事務事業のあり方 (事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							
適正な取水・受水・配水管理は、水の安定供給に欠かせないことから事業の優先度は高い							

## 2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
①～④適切である。 ⑤考えられない。 ⑥、⑦適切である。 老朽化が進んでいる浄水場及び管路等の耐震化等で、施設を更新する時期を迎え、水道局の基本計画に基づき事業を計画的に進めて行く。	①～④適切である。 ⑤考えられない。 ⑥、⑦適切である。 老朽化が進んでいる浄水場及び管路等の耐震化等で、施設を更新する時期を迎え、水道局の基本計画に基づき事業を計画的に進めて行く。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
①～④・⑥～⑦施策の目標に沿った事業を概ね推進できた。	・施策目標に沿って事業が執行され、目標達成に貢献した。
改善検討	
○要 ●不要	
施策展開の改善点と展開方向	
水道施設の老朽化・耐震化により、施設の交換時期をむかえ、基本計画にそって事業を推進する。	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	経営基盤の強化と利用者サービスの充実	施策コード	62302	施策主管部課	水道局 経営課	
	(2) 上位の政策（基本計画の節）	上水道の安定供給			関係課		
	(3) 節の目的	安全な水を安定して供給するため、災害時を含めた確実な水の確保や、効率的な水道経営に努めます。					
	(4) 施策の目的・展開方向	水道経営の健全化のため、包括業務委託の着実な推進による官民連携効果で、サービスの維持向上と事業運営の効率化による諸経費の縮減化を進め、一層の経営基盤強化と利用者サービスの充実に努めます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度				
		何（誰）を対象に	水道局の経営基盤				
どういう状態に		強化されている					
(6) 施策実施上の課題と対応	利用者サービスの向上を目指すためには、包括業務委託を着実に推進し、民間ノウハウの活用を拡大することで官民連携効果を一層引出すことが必要である。また、一方では包括業務委託を適正に推進していくための業務管理能力や少数精鋭での組織運営を支えるスキルが職員に求められることから、新たな組織に求められる職員能力の開発にも体系的に取り組み、効率的、機能的な組織として、持続可能な運営体制を構築する必要がある。						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 総収支比率（総収益／総費用）	総収支比率を指標とすることで、経営の健全性を把握することができる。					
	② 水道料金の収納率（収納金額／確定調定額）	水道料金の収納率向上が、経営基盤の強化と利用者サービスにつながる。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値		109	112	110	108
		実績値	%	116.3	115.4	116.5	113.1
		達成率		106.70	103.04	105.91	104.72
	②	目標値		100	99.7	99.8	99.8
		実績値	%	99.93	99.93	99.4	99.4
		達成率		99.93	100.23	99.60	99.60
③	目標値						
	実績値						
	達成率						
財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	(9) 予算（千円）	事業費	392,045	420,866	264,472	401,000	
		人件費	48,400	51,040	55,000	57,200	
		合 計	440,445	471,906	319,472	458,200	
	(10) 実績値（千円）	事業費	392,045	420,866	264,472	228,915	
		人件費	48,400	51,040	55,000	57,200	
合 計		440,445	471,906	319,472	286,115		

### 施策を構成する事務事業

事務事業名	契約事務				課名	経営課		
指標	公募型一般競争入札契約率（公募型一般競争入札契約件数／全契約数）				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	26.67	目標値	30	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	32.29	達成率	107.63			予算額	1,026	3,520
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	821	3,520

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

公正・公平な事業に不可欠であり貢献度は高い

事務事業名	出納管理				課名	経営課		
指標	不備伝票処理件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	55	目標値	55	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	48	達成率	114.58			予算額	683	5,720
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	683	5,720

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

公営企業の経理及び予算の執行に関して、必要な書類を作成し、経営成績や財政状態を明らかにしなければならない。

事務事業名	広報活動推進				課名	経営課		
指標	あびこの水道配布数／世帯数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	3,358	2,640
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	2,980	2,640

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

水道利用者に対して、水道事業にかかる情報発信は必須である。

事務事業名	料金の調定・徴収・収納				課名	経営課		
指標	収納率				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	95.6	目標値	96	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	95.6	達成率	99.58			予算額	23,485	3,960
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	23,449	3,960

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

水道事業は料金収入により執り行われているため、料金の収納率を上げることは健全な水道事業運営を行う上で欠かすことの出来ない極めて重要な事項であることから、今後も鋭意推進していく。

事務事業名	水道事業計画の進行管理				課名	経営課		
指標	当該年度執行事業件数／当該年度計画事業件数×100				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0	2,640
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	2,640

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

施策に貢献しており、今後も継続して取り組んでいくべき事業である。

事務事業名	庁舎維持管理				課名	経営課		
指標	実施件数／管理保守の予定件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	24,072	2,200
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	23,015	2,200

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

施策に貢献しており、今後も継続して取り組むべき事業である。

事務事業名	組織・人事管理				課名	経営課		
指標	労働生産性＝（営業収益－受託工事収益）／損益勘定所属職員数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	105,422	目標値	106,476	単位	千円	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	125,064	達成率	117.46			予算額	910	2,640
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	706	2,640

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

施策に貢献している。

事務事業名	資金管理				課名	経営課		
指標	流動資産回転率： 営業収益－受託工事収益／（期首流動資産＋期末流動資産）				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	0.46	目標値	0.77	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0.61	達成率	79.22			予算額	618	3,080
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	618	3,080

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

中期計画の基本施策である財政状態の健全維持と事務事業の効率化を目指し、安定した水道事業経営を維持するため、実施効果の高い予算編成と、収支バランスのとれた健全経営が求められている。

### 施策を構成する事務事業

事務事業名 貯蔵品管理					課名	経営課		
指標	貯蔵品(たな卸資産) 回転率=営業収益-受託工事収益/(期首たな卸)			政策・経常	□政策 □経常 ■なし			
現況値	104.1	目標値	149.04	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	128.21	達成率	86.02			予算額	34,376	880
事務事業の施策への貢献度					評価	現状	実績値	
							19,210	880

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

適切な予算執行に貢献

事務事業名 職員研修の推進					課名	経営課		
指標	研修計画数			政策・経常	□政策 □経常 ■なし			
現況値	27	目標値	30	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	32	達成率	106.67			予算額	1,453	2,200
事務事業の施策への貢献度					評価	現状	実績値	
							535	2,200

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

施策に貢献度は高く、必須事業である。

事務事業名 料金・給水・会計業務等包括委託					課名	経営課		
指標	評価基準による得点			政策・経常	□政策 □経常 ■なし			
現況値	485	目標値	620	単位	点	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	485	達成率	78.23			予算額	152,829	12,760
事務事業の施策への貢献度					評価	現状	実績値	
							152,829	12,760

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

包括業務委託の最終年であり業務要求水準書で要求した業務については、ほぼ実施出来ている。全体としては業務の効率化が図られており、経費を削減することが出来ている。また、お客様サービスの向上させることが出来た。

事務事業名 法務事務					課名	経営課		
指標	制定及び改廃実施件数/制定及び改廃予定数			政策・経常	□政策 □経常 ■なし			
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	110	3,960
事務事業の施策への貢献度					評価	現状	実績値	
							0	3,960

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

法制度等に対応する必要・義務があるため。

事務事業名 公用車管理					課名	経営課		
指標	点検・車検実施数/点検・車検予定数			政策・経常	□政策 □経常 ■なし			
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	2,510	880
事務事業の施策への貢献度					評価	現状	実績値	
							1,545	880

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

資産の有効活用により施策に貢献している。

事務事業名 財産管理					課名	経営課		
指標	財産の目的外使用に係る審査件数/申請件数			政策・経常	□政策 □経常 ■なし			
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	492	1,320
事務事業の施策への貢献度					評価	現状	実績値	
							454	1,320

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

経営基盤の強化

事務事業名 予算編成					課名	経営課		
指標	査定率= 予算の査定額/予算要求額			政策・経常	□政策 □経常 ■なし			
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0	2,200
事務事業の施策への貢献度					評価	現状	実績値	
							0	2,200

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

安定した水道事業経営を維持するため、実施効果の高い予算編成と、収支バランスのとれた健全経営が求められている。

事務事業名 決算調製					課名	経営課		
指標	経営資本営業利益率=(営業利益/経営資本) × 100			政策・経常	□政策 □経常 ■なし			
現況値	△1	目標値	5.7	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0	達成率	0.00			予算額	0	2,200
事務事業の施策への貢献度					評価	現状	実績値	
							0	2,200

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

地方公営企業法による事務であり優先度は高い

### 施策を構成する事務事業

事務事業名	滞納整理及び給水停止処分				課名	経営課		
指標	収納率の向上				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	99.94	目標値	99.94	単位	%	事業費(千円)		
実績値	99.94	達成率	100.00			予算額	2,249	正職員人件費(千円)
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	2,070	4,400

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

水道事業は料金収入を主たる経営財源としているので、料金の未納は健全な事業経営を阻害するため、未収料金を回収することは極めて重要であることから、今後も鋭意推進していく。



## 2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
①～④適切である。 ⑤考えられない。 ⑥、⑦適切である。 水道経営の基盤強化を図るために、計画事業を着実に推進し、かつ事業の執行にあたっては、経済合理性の確保が徹底されるよう進行管理に努める必要がある。また、組織の少数精鋭化に向け、包括業務委託による官民連携効果をより高い水準で発揮できるよう、受託事業者と鋭意協調・協力のうえ、業務の領域と裁量の最適化に努めるとともに、職員教育では、効果的なジョブローテーションが持続可能となるよう、体系的な育成を継続的に実践し	①～④適切である。 ⑤考えられない。 ⑥、⑦適切である。 水道事業ビジョンに掲げる基本目標実現のために、施策の着実な展開が求められる。このため、計画事業の円滑な推進に留意して進行管理することに併せ、財政面では経営戦略を踏まえた規律性確保に努めるものとする。また、組織を少数精鋭化するための職員教育を体系的かつ継続的に実践することに併せ、包括業務委託等では、民間ノウハウをより有効に活用するための手法を官民連携して創意工夫することが重要である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
①～④適切である。 ⑤応急給水体制の充実など一部の事業で実施した ⑥、⑦適切である。 新しい水道事業ビジョンおよび水道事業基本計画などの計画期間1年目として、水道経営の基盤強化にむけ必要な事業を着実に推進した。本年度は次期包括委託の事業者選定や新たな地方債の借入、大規模災害への対応(台風被災地への応援給水)、水道法改正に伴う条例改正など、通常以外の業務が多く発生したが、局内・庁内の関係課や包括業務受託者等と連携しながら、現状の体制の中で適正に事務を執行した。	①～④適切である。 ⑤応急給水体制の充実など一部の事業で実施した。 ⑥、⑦適切である。 水道事業ビジョンに掲げた「安全」「強靱」「持続」の基本目標を実現するため、計画した事業を推進するとともに、経営戦略を踏まえ財政面の規律性確保に努めた。また、業務と並行して職員研修を行い、体系的に各職員のスキルアップに努めた。包括業務委託では、民間ノウハウを有効に活用しお客様サービスの向上と図ってきたが、次期包括では業務範囲も拡大することからさらなる業務効率の向上に取り組んでいく。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	

2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	計画的な雨水排水施設等の整備と維持管理	施策コード	62401	施策主管部課	建設部 治水課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	都市排水施設の整備・充実			関係課	道路課	
	(3) 節の目的	市街地での浸水被害を防ぐため、計画的に雨水排水施設の整備・改修をすすめるとともに、雨水流出抑制施設の整備促進を図ります。					
	(4) 施策の目的・展開方向	市街地での浸水被害を軽減するため、計画的に幹線排水路、ポンプ場などの雨水排水施設や、調整池などの雨水流出抑制施設の整備・改修を進めるとともに、施設の適切な維持管理を行います。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度				
		何（誰）を対象に	常襲的な浸水被害発生地区				
どういう状態に		浸水被害が軽減されている。					
(6) 施策実施上の課題と対応	常襲的な浸水被害に悩まされている地区が存在しており、計画的な排水施設の整備が求められている。実施にあたっては、多大な事業費を要することから、社会資本整備総合交付金事業として推進していく必要がある。						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 都市浸水対策達成率（整備完了面積／認可区域面	都市浸水対策達成率を指標とすることで、事業進捗状況を的確に把握することができる。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	%	63	64	66	66
		実績値		63	64	64	0
		達成率		100.00	100.00	96.97	0.00
	②	目標値					
		実績値					
		達成率					
	③	目標値					
実績値							
達成率							
財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	1,308,566	1,149,052	868,311	1,081,541	
		人件費	91,696	86,504	84,304	86,240	
		合 計	1,400,262	1,235,556	952,615	1,167,781	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	1,308,566	1,149,052	868,311	852,372	
		人件費	91,696	86,504	84,304	86,240	
		合 計	1,400,262	1,235,556	952,615	938,612	

### 施策を構成する事務事業

事務事業名 布施地区の排水施設整備					課名	道路課	
指標	整備率				政策・経常	■政策 □経常 □なし	
現況値	0	目標値	100	単位		事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00				
事務事業の施策への貢献度					●高い ○普通 ○低い	評価	実績値
					予算額	2,409	880
					実績値	2,316	880

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

布施地区の排水対策事業は完了することができる

事務事業名 布佐排水区の整備					課名	治水課	
指標	雨水管整備工事の進捗率（施工済延長／施工予定延長(約1900m)）				政策・経常	■政策 □経常 □なし	
現況値	3	目標値	4	単位		事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	3	達成率	75.00				
事務事業の施策への貢献度					●高い ○普通 ○低い	評価	実績値
					予算額	143,490	8,360
					実績値	106,175	8,360

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

布佐地区の浸水被害を軽減するためには、雨水幹線の整備が不可欠であるため、今後も現状どおり推進する必要がある。

事務事業名 根戸排水区の整備					課名	治水課	
指標	暫定調整池の適正な維持に必要な用地の取得				政策・経常	■政策 ■経常 □なし	
現況値	0	目標値	1	単位	箇所	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	1	達成率	100.00				
事務事業の施策への貢献度					●高い ○普通 ○低い	評価	実績値
					予算額	20,915	968
					実績値	19,500	968

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

根戸地区の浸水被害を軽減するためには、調整池機能を維持する必要があり、事業の優先度は高い。なお、暫定調整池として借地していた土地を令和元年度に取得したが、今後、暫定調整池のあり方について検討が必要である。

事務事業名 若松第1～第5排水区の整備					課名	治水課	
指標	雨水管布設工事の進捗率（施工済延長／施工予定延長1390m）				政策・経常	■政策 □経常 □なし	
現況値	50	目標値	68	単位		事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	62	達成率	91.18				
事務事業の施策への貢献度					○高い ●普通 ○低い	評価	実績値
					予算額	296,708	9,680
					実績値	209,655	9,680

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

若松地区の浸水被害を軽減するためには、バイパス管の整備が必要であり、今後も現状どおり推進する必要がある。

事務事業名 市内ポンプ施設の点検					課名	治水課	
指標	ポンプ施設(22箇所)点検回数。				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	0	目標値	192	単位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	192	達成率	100.00				
事務事業の施策への貢献度					●高い ○普通 ○低い	評価	実績値
					予算額	15,560	2,816
					実績値	14,312	2,816

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

ポンプ施設の不具合は、円滑な内水排除ができなくなることから、ポンプ施設の適正な維持管理が必要不可欠であり、事業の優先度は高い。

事務事業名 排水施設堆積物撤去業務					課名	治水課	
指標	調整池、排水路、管渠等の堆積物撤去工事箇所数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	0	目標値	20	単位	箇所	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	18	達成率	111.11				
事務事業の施策への貢献度					●高い ○普通 ○低い	評価	実績値
					予算額	22,700	2,288
					実績値	20,825	2,288

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

排水施設の機能を維持するためには、定期的な堆積物撤去工事が必要不可欠であり、事業の優先度は高い。

事務事業名 排水施設の草刈業務					課名	治水課	
指標	草刈面積				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	0	目標値	17.4	単位	ha	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	17.6	達成率	101.15				
事務事業の施策への貢献度					●高い ○普通 ○低い	評価	実績値
					予算額	50,265	2,112
					実績値	49,630	2,112

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

排水施設の周辺環境を良好な状態に維持管理するためには、草刈業務が必要であるため、事業の優先度は高い。

事務事業名 法定外公共物(水路)の管理					課名	治水課	
指標	占用料の徴収率				政策・経常	□政策 □経常 ■なし	
現況値	0	目標値	100	単位		事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00				
事務事業の施策への貢献度					●高い ○普通 ○低い	評価	実績値
					予算額	0	2,552
					実績値	0	2,552

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

法定外公共物(水路)の機能を維持するためには、適正に管理する必要があり、事業の優先度は高い。

### 施策を構成する事務事業

事務事業名	管理用地境界の確定業務				課名	治水課		
指標	境界確定率（境界確定件数／申請件数）				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	192	1,232
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	91	1,232

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

公共用地を適正に管理するためには、境界確定業務は必要不可欠であり、事業の優先度は高い。

事務事業名	排水施設維持補修工事				課名	治水課		
指標	維持補修工事の箇所数。				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	0	目標値	35	単位	箇所	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	43	達成率	81.40			予算額	95,000	8,360
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	88,049	8,360

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

排水施設の機能を適正に維持するためには、排水施設の不具合箇所の維持補修工事が必要であることから、事業の優先度は高い。

事務事業名	金谷排水機場ポンプの点検				課名	治水課		
指標	排水機場のポンプ 施設点検回数。				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	0	目標値	5	単位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	5	達成率	100.00			予算額	1,578	2,552
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	1,352	2,552

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

金谷排水機場の機能を維持するためには、定期的に点検することが必要であることから、事業の優先度は高い。

事務事業名	関東排水区の整備（我孫子駅北口浸水対策事業）				課名	治水課		
指標	業務の進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	0	目標値	3	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	3	達成率	100.00			予算額	3,484	0
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	その他	実績値	2,994	0

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

我孫子4丁目地区の浸水被害を軽減するために必要となる調整池の築造が完成した。

事務事業名	緊急浸水対策事業				課名	治水課		
指標	緊急浸水対策箇所数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	0	目標値	5	単位	箇所	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	5	達成率	100.00			予算額	36,140	5,984
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	35,546	5,984

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

抜本的な浸水対策には長期の期間を要することから、短期的な対策として排水施設を整備することで浸水被害を軽減するのに有効であることから、事業の優先度は高い。

事務事業名	天王台地区の整備（天王台6丁目地区浸水対策事業）				課名	治水課		
指標	雨水幹線工事の進捗率（整備総延長202m）				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	40	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	243,353	10,120
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	207,104	10,120

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

天王台6丁目地区の浸水被害を軽減するためには、雨水排水施設の整備が必要であり、今後も現状どおり推進する必要がある。

事務事業名	柴崎排水区の整備（後田樋管整備事業）				課名	治水課		
指標	樋管築造工事の進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	90	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	35,551	9,856
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	その他	実績値	10,228	9,856

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

柴崎地区・天王台地区の浸水被害を軽減するためには、後田樋管の整備が必要であった。

事務事業名	柴崎排水区の整備（柴崎幹線整備事業）				課名	治水課		
指標	用地買収の進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	8	達成率	8.00			予算額	47,436	9,064
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	21,567	9,064

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

現状どおり

### 施策を構成する事務事業

事務事業名	雨水排水施設台帳の整備				課名	治水課		
指標	雨水排水施設の調査の進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	32,760	5,456
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	29,028	5,456

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

現状どおり推進。

事務事業名	下水道ストックマネジメント事業（雨水）				課名	治水課		
指標	ストックマネジメント計画策定業務委託の進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	34,000	3,960
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	34,000	3,960

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

現状どおり推進。



## 2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

### 事前評価

施策主管課長	施策主管部長
常襲的な浸水被害地区の幹線排水路・ポンプ場等の雨水排水施設や調整池等の雨水流出抑制施設を計画的に整備・改修を進めるとともに施設の適切な維持管理を行うことは、浸水被害の軽減につながる。	課長の評価を妥当と考える。本施策は、重点プロジェクトに位置付けられており、部の運営方針と直結する有効な施策と判断する。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



### 事後評価

施策主管課長	施策主管部長
常襲的な浸水被害地区において、幹線排水路・ポンプ場の雨水排水施設や調整池等の雨水流出抑制施設を計画的に整備・改修するとともに、施設の適切な維持管理を行うことは、浸水被害の軽減につながる。 雨水排水施設等の整備は、多額の事業費を要することから、社会資本整備総合交付金等を活用し、推進していく必要がある。	本施策は、重点プロジェクトに位置付けられており、部の運営方針と直結する有効な施策であり、課長の評価を妥当と考える。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	
→	



### 2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	雨水貯留タンク・浸透施設の普及促進	施策コード	62402	施策主管部課	建設部 治水課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	都市排水施設の整備・充実			関係課	
	(3) 節の目的	市街地での浸水被害を防ぐため、計画的に雨水排水施設の整備・改修をすすめるとともに、雨水流出抑制施設の整備促進を図ります。				
	(4) 施策の目的・展開方向	市街地での浸水被害の軽減を図るため、住宅などの敷地内における雨水貯留タンクの設置を支援するとともに、浸透ますや浸透トレンチなどの雨水浸透施設の普及促進を図ります。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度			
		何（誰）を対象に	市街地			
どういう状態に		浸水被害が緩和されている。				
(6) 施策実施上の課題と対応	雨水浸透施設の推進や雨水貯留タンクの設置は、市街地浸水被害軽減するため、要綱の広報等によるPR活動を実施し、普及促進を図る必要がある。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 雨水貯留タンク設置補助累計基数	雨水貯留タンク設置補助累計基数を指標とすることで、雨水抑制の普及を把握することができる。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	基	540	560	575	590
		実績値		571	586	594	0
		達成率		105.74	104.64	103.30	0.00
	②	目標値					
		実績値					
達成率							
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	1,690	1,000	500	500
		人件費	4,840	7,920	8,800	7,568
		合 計	6,530	8,920	9,300	8,068
	(10) 実績値 (千円)	事業費	1,690	1,000	500	382
		人件費	4,840	7,920	8,800	7,568
合 計		6,530	8,920	9,300	7,950	

**施策を構成する事務事業**

事務事業名 開発等への雨水流出抑制指導					課名	治水課	
指標	排水放流申請の回答率。				政策・経常	□政策 □経常 ■なし	
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0
事務事業の施策への貢献度 ●高い ○普通 ○低い					評価	現状	実績値
						0	3,520
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							
「我孫子市開発等に伴う排水計画技術基準(雨水編)」に従い雨水流出抑制の指導を実施することで、開発等による雨水流出量の増加が抑えられるだけでなく、排水路等への負担軽減や浸水被害の軽減が図られることから、事業の優先度は高い。							
事務事業名 雨水貯留タンクの設置補助					課名	治水課	
指標	雨水貯留タンクの累積設置基数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	584	目標値	599	単位	基	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	594	達成率	99.17			予算額	500
事務事業の施策への貢献度 ●高い ○普通 ○低い					評価	現状	実績値
						382	1,408
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							
雨水貯留タンクの設置に対して補助金を支給することで、雨水流出抑制効果のある雨水貯留タンクの設置・普及が進むだけでなく、浸水被害の軽減や雨水の再利用に対する市民の意識向上が図られることから、事業の優先度は高い。							
事務事業名 雨水浸透施設の普及促進					課名	治水課	
指標	雨水浸透施設設置届出件数/建築物の新築件数。				政策・経常	□政策 □経常 ■なし	
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	40	達成率	40.00			予算額	0
事務事業の施策への貢献度 ●高い ○普通 ○低い					評価	現状	実績値
						0	2,640
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							
雨水浸透施設の普及を促進することで、各戸からの雨水流出量が低減し、浸水被害の軽減を図ることができることから、事業の優先度は高い。							

## 2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
住宅地などの敷地内における雨水貯留タンクの設置を支援するとともに、浸透マスや浸透トレンチなどの雨水浸透施設の普及促進により、市街地での浸水被害の軽減を図ることができる。	課長の評価を妥当と考える。部の運営方針と直結する有効な施策と判断する。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
➡	



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
住宅地などの敷地内に雨水貯留タンクの設置の支援を行うとともに、浸透マスや浸透トレンチなどの雨水流出抑制施設の設置を推進することで、市街地での浸水被害の軽減を図ることができた。	部の運営方針と直結する有効な施策と判断し、課長の評価を妥当と考える。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
➡	

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	幹線道路網の見直し	施策コード	63101	施策主管部課	都市部 都市計画課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	幹線道路網の整備			関係課		
	(3) 節の目的	幹線道路を住環境や安全に配慮しながら計画的に整備し、広域的なつながりや地区間の連絡を円滑にします。					
	(4) 施策の目的・展開方向	将来交通需要の変化に対応しながら、市内における円滑で効率的な幹線道路網を形成していくため、国や県が進める広域的な幹線道路の計画や整備に合わせて、幹線道路網の見直しを行います。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度				
		何（誰）を対象に	幹線道路網				
どういう状態に		市を取り巻く広域交通網や将来交通需要の変化に対応している					
(6) 施策実施上の課題と対応	幹線道路の老朽化に伴う改修・整備を計画的に進めると共に、狭あい道路の解消や道路排水施設の整備についても計画的に推進する必要がある。また、国が計画する新たな広域幹線道路の内容によっては市内全域の交通体系の変化も予想される。						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 幹線道路網の見直し進捗率	平成24年度の長期未整備都市計画道路費用対効果検討結果に基づき、市内における交通状況や道路整備状況などを見極めながら、必要な見直しを行う必要があるため、直接指標として進捗率を選					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	%	25	50	75	100
		実績値		25	25	25	25
		達成率		100.00	50.00	33.33	25.00
	②	目標値					
		実績値					
		達成率					
	③	目標値					
実績値							
達成率							
財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	0	0	0	0	
		人件費	2,200	2,200	2,640	3,520	
		合 計	2,200	2,200	2,640	3,520	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	0	0	0	0	
		人件費	2,200	2,200	2,640	3,520	
合 計		2,200	2,200	2,640	3,520		

### 施策を構成する事務事業

事務事業名	幹線道路網に関する調査・検討				課名	都市計画課		
指標	千葉県等関係機関との協議、調整の回数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	2	目標値	2	単位	回	事業費(千円)		正職員人件費(千円)
実績値	2	達成率	100.00			予算額	0	3,520
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	3,520

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

国において継続して千葉柏道路の検討が行われており、今後の計画が本市の幹線道路網の見直しに大きく影響することから、事業の優先度は高い。

## 2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
都市計画等に基づく幹線道路網の整備は、まちづくりにとって重要である。しかし、社会状況や環境の変化に適切に対応し、市内における円滑で快適な交通網を構築していくため、長期未整備の都市計画道路や概成区間の都市計画道路については、費用対効果や必要性、国が計画する新たな幹線道路計画の動向などを見極めたくて、必要な見直しを行っていく必要がある。	社会状況や環境の変化に適切に対応し、市内における円滑で快適な交通網を構築していくため、必要な施策である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
➡	



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
将来交通需要の変化に適切に対応しながら、市内における円滑で効率的な幹線道路網を形成していくため、平成24年度に実施した都市計画道路網の交通需要予測や未整備路線を整備した場合の費用対効果の検討結果を踏まえ、国や県が広域的な幹線道路の計画や整備をする場合には、本市の都市計画道路網の見直しを進める必要がある。また、広域幹線道路網の整備が進んでおり、国や県の今後の動向を注視する必要がある。	①～④ 部の運営方針、課の目標に沿った施策であり、節の目的達成に効果的な施策であった。 ⑤ 市民との協働には該当しなかった。 ⑥⑦ 節の目的を達成するためには、引き続き取り組んでいく必要がある。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
➡	



施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	幹線道路の整備・改良		施策コード	63102	施策主管部課 建設部 交通課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	幹線道路網の整備			関係課		
	(3) 節の目的	幹線道路を住環境や安全に配慮しながら計画的に整備し、広域的なつながりや地区間の連絡を円滑にします。					
	(4) 施策の目的・展開方向	中心拠点活性化の観点から、現在整備を進めている都市計画道路3・4・14号手賀沼公園・久寺家線の整備を完了させるとともに、3・5・15号根戸新田・布佐下線の整備に合わせて、3・4・9号下ヶ戸・中里線と3・4・10号青山・日秀線の整備を進めます。また、事故多発箇所や渋滞箇所については、安全施設の充実や交差点の改良、各道路管理者への改善要望など適切な対策を講じます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度				
		何（誰）を対象に	幹線道路				
どういう状態に		円滑で快適な交通流動が確保されている。					
(6) 施策実施上の課題と対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画道路事業用地取得においては、権利者の理解と協力が得られるように、十分な事業説明と根気強い交渉が必要である。</li> <li>・街路整備により沿道環境が変化することについて、説明会等を実施して十分に周知する必要がある。</li> </ul>						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 都市計画道路の整備率（手賀沼・公園久寺家線の	都市計画道路の整備率を指標とすることで、幹線道路での交通流動性が確保されているかどうか把握できる。					
	② 都市計画道路の整備率（下ヶ戸・中里線外1線の	都市計画道路の整備率を指標とすることで、幹線道路での交通流動性が確保されているかどうか把握できる。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	%	81	88	88	100
		実績値		81	81	81	81
		達成率		100.00	92.05	92.05	81.00
	②	目標値	%	0	0	0	5
		実績値		0	0	0	0
		達成率		0	0	0	0.00
③	目標値						
	実績値						
	達成率						
財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	290,906	181,559	269,573	283,695	
		人件費	18,128	17,512	29,392	24,992	
		合 計	309,034	199,071	298,965	308,687	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	290,906	181,559	269,573	21,349	
		人件費	18,128	17,512	29,392	24,992	
		合 計	309,034	199,071	298,965	46,341	

### 施策を構成する事務事業

事務事業名 手賀沼公園・久寺家線の整備					課名	交通課		
指標	整備進捗率（用地取得率＋工事進捗率）				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	81	目標値	88	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0	達成率	0.00			予算額	267,446	12,672
事務事業の施策への貢献度 ●高い ○普通 ○低い					評価	現状	実績値	
							12,151	12,672

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

都市計画で定めた主要な幹線道路であるため、早期の供用が必要である。

事務事業名 下ヶ戸・中里線外1線の整備					課名	交通課		
指標	事業用地取得				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	2	目標値	8	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	2	達成率	25.00			予算額	16,249	12,320
事務事業の施策への貢献度 ●高い ○普通 ○低い					評価	現状	実績値	
							9,198	12,320

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

円滑で快適な交通流動の確保のために必要な施策である。

## 2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
市内幹線道路間のアクセス向上、交通混雑の緩和及び交通円滑化への対策として重要な施策であり、道路を利用する歩行者の安全確保からも必要不可欠は施策である。	幹線道路の整備は、円滑で快適な交通流動を確保するうえで重要な施策であり推進する必要がある。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
・3・4・14号手賀沼公園・久寺家線の認可については、令和2年3月末から令和6年3月末に事業期間を延伸した。 ・市内幹線道路間のアクセス向上、交通混雑の緩和及び交通円滑化への対策として重要な施策であり、道路を利用する歩行者の安全確保からも必要不可欠であることから、引き続き事業を推進する。	幹線道路の整備は、円滑で快適な交通流動を確保する上で重要な施策であるため、継続した整備が必要である。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	計画的な生活道路の整備	施策コード	63201	施策主管部課	建設部 道路課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	生活道路の整備			関係課	交通課 建築住宅課	
	(3) 節の目的	日常の暮らしを支える重要な施設である生活道路は、道路の安全性を高めるとともに、維持管理を充実します。また、道路空間のデザインや緑化に配慮し、魅力ある快適な道路整備をすすめます。					
	(4) 施策の目的・展開方向	安全で快適に通行できるよう、狭あい道路の拡幅や踏切の改良など、市民の生活に密接にかかわる生活道路の計画的な整備を進めます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度				
		何（誰）を対象に	生活道路				
		どういう状態に	安全で快適に通行できるよう整備されている				
(6) 施策実施上の課題と対応	狭隘道路の拡幅や待避所設置など用地確保が伴うため、地権者の事業理解が必要である。限られた財源の中での事業であるため、市民ニーズを把握し、これを反映させる。						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 下新木踏切道の歩道整備延長（420m）	道路整備状況が把握できる。					
	② 市道24-003号線等(妻子原地先)の改良整備延長	道路整備状況が把握できる。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	%	10	40	70	100
		実績値		0	0	0	31
		達成率		0.00	0.00	0.00	31.00
	②	目標値	%	20	50	100	100
		実績値		0	0	0	10
		達成率		0.00	0.00	0.00	10.00
③	目標値						
	実績値						
	達成率						
財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	118,491	46,186	280,126	201,730	
		人件費	48,664	44,880	50,952	47,344	
		合 計	167,155	91,066	331,078	249,074	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	118,491	46,186	280,126	105,980	
		人件費	48,664	44,880	50,952	47,344	
		合 計	167,155	91,066	331,078	153,324	

### 施策を構成する事務事業

事務事業名	市道の認定、廃止及び用途廃止				課名	道路課		
指標	告示路線件数／認定等路線件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0	4,840
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	4,840

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

道路法で定められ、市民生活に直結している事務のため、事業の優先度は高い。

事務事業名	市道24-003号線等（妻子原地先）の改良				課名	道路課		
指標	検討の進捗率				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	0	目標値	10	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	10	達成率	100.00			予算額	0	1,760
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	1,760

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

安全で円滑な通行を確保するためには有効幅員を広くする必要があり、さまざまな検討を進める必要がある。

事務事業名	開発行為の指導・道路用地の寄付帰属				課名	道路課		
指標	処理件数／申請件数×100				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0	5,456
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	5,456

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

開発行為の申請があった場合には、道路に関する指導が必須であるため、事業の優先度は高い。

事務事業名	道路に関する相談への対応				課名	道路課		
指標	相談処理率（解決件数／相談件数）				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	7,946	12,232
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	7,905	12,232

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

道路に関する相談は年々増加しており、市民生活を良好に維持するために、当該事業は道路行政を行う上で優先度は非常に高い。

事務事業名	高野山新田交差点改良				課名	道路課		
指標	交差点検討の進捗率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	0	目標値	10	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	10	達成率	100.00			予算額	0	704
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	704

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

安全で快適な道路とするため、必要な事業である。

事務事業名	市道21-039号線（高野山地先）道路整備				課名	道路課		
指標	交渉進捗率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	10	達成率	10.00			予算額	0	352
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	352

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

高野山地区内の円滑な通行を図るために、高野山まちづくり事業で整備出来なかった部分の整備を行う必要がある。

事務事業名	中峠・古戸の道路整備				課名	道路課		
指標	整備率				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	50	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	90	達成率	90.00			予算額	91,206	2,288
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	73,203	2,288

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

中峠・古戸地区の防災面強化や快適な住環境を確保するため、道路整備が必要である。

事務事業名	土谷津地区の道路整備				課名	道路課		
指標	業務の進捗度				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	60	達成率	60.00			予算額	14,943	2,992
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	5,987	2,992

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

土谷津地区内への緊急車両の進入路確保するためには、必要な道路整備であることから、事業の優先度は高い。

### 施策を構成する事務事業

事務事業名 新木駅北口地区の道路整備					課 名 道路課				
指 標 検討の進捗度					政策・経常 <input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし				
現況値	0	目標値	5	単 位	%	事業費(千円)			
実績値	5	達成率	100.00			正職員人件費(千円)			
事務事業の施策への貢献度 <input type="radio"/> 高い <input checked="" type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い					評価	現状	予算額	0	792
							実績値	0	792
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)									
駅への安全性を図るため、必要な事業である。									
事務事業名 中里地区の道路整備					課 名 道路課				
指 標 検討の進捗度					政策・経常 <input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし				
現況値	0	目標値	100	単 位	%	事業費(千円)			
実績値	50	達成率	50.00			正職員人件費(千円)			
事務事業の施策への貢献度 <input type="radio"/> 高い <input checked="" type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い					評価	現状	予算額	0	1,408
							実績値	0	1,408
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)									
湖北台公共施設整備と調整を図り、事業を推進していく必要がある。									
事務事業名 下新木踏切道の改良					課 名 交通課				
指 標 契約権利者数					政策・経常 <input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし				
現況値	2	目標値	7	単 位	件	事業費(千円)			
実績値	0	達成率	0.00			正職員人件費(千円)			
事務事業の施策への貢献度 <input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い					評価	現状	予算額	87,635	12,320
							実績値	18,885	12,320
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)									
道路交通の安全性や歩道整備による通学路の安全確保のために重要な施策である。									
事務事業名 狭あい道路(建築基準法第42条第2項道路)の拡幅指導と支援					課 名 建築住宅課				
指 標 後退義務があるもののうちパトロールできた後退義務件数					政策・経常 <input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし				
現況値	100	目標値	80	単 位	%	事業費(千円)			
実績値	100	達成率	125.00			正職員人件費(千円)			
事務事業の施策への貢献度 <input type="radio"/> 高い <input checked="" type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い					評価	現状	予算額	0	2,200
							実績値	0	2,200
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)									
狭隘道路の解消には、パトロールの実施が不可欠であるため引き続きパトロールを実施する必要がある。									



## 2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

### 事前評価

施策主管課長	施策主管部長
<ul style="list-style-type: none"> <li>・節の目標を達成するために効果的な政策だと考える。</li> <li>・生活道路の整備は、面的整備に伴う道路整備以外は基本的には考えられないことから、通行支障箇所の改善や老朽施設の更新、通行実態に応じた道路改良を実施するとともに道路の適切な管理、維持補修を行う必要がある。</li> <li>・実施には専門的知識を有している職員の配置とともに研修等で知識の習得も必要である</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節の目標を達成するために効果的な政策だと考える。</li> <li>・生活道路の整備は、面的整備に伴う道路整備以外は基本的には考えられないことから、通行支障箇所の改善や老朽施設の更新、通行実態に応じた道路改良を実施するとともに道路の適切な管理、維持補修を行う必要がある。</li> </ul>
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



### 事後評価

施策主管課長	施策主管部長
生活道路の整備は、市民生活に密接しているため、通行支障箇所の改善や老朽施設の更新や、通行実態に応じた道路改良を実施するとともに、道路の適切な管理、維持補修を実施した。	本施策は、市民生活と密接な関係にあり、部の運営方針と直結する有効な施策と判断する。
改善検討	
●要 ○不要	
施策展開の改善点と展開方向	
・実施には、専門的知識を有している職員の人員配置などの措置が必要である。	



### 2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	道路用地と道路施設の適切な管理・維持補修	施策コード	63202	施策主管部課	建設部 道路課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	生活道路の整備			関係課	
	(3) 節の目的	日常の暮らしを支える重要な施設である生活道路は、道路の安全性を高めるとともに、維持管理を充実します。また、道路空間のデザインや緑化に配慮し、魅力ある快適な道路整備をすすめます。				
	(4) 施策の目的・展開方向	安全で快適に通行できるよう、道路用地と道路施設の適切な管理や効率的・効果的な維持補修を行います。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度			
		何（誰）を対象に	道路空間			
どういう状態に		安全で快適に通行できるよう適切な維持管理が行われている。				
(6) 施策実施上の課題と対応	限られた財源の中で事業であるため、市民ニーズを把握し、これを反映させる。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 市道の舗装率	道路整備状況が把握できる。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	%	91	93	95	100
		実績値		91	93	94	95
		達成率		100.00	100.00	98.95	95.00
	②	目標値					
		実績値					
達成率							
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	418,501	445,867	567,953	568,026
		人件費	107,800	126,456	120,120	116,336
		合 計	526,301	572,323	688,073	684,362
	(10) 実績値 (千円)	事業費	418,501	445,867	567,953	497,761
		人件費	107,800	126,456	120,120	116,336
合 計		526,301	572,323	688,073	614,097	

### 施策を構成する事務事業

事務事業名	道路用地の管理				課名	道路課		
指標	取得件数(取得額)				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0	達成率	0.00			予算額	4,560	4,136
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	2,157	4,136

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

令和2年も引き続き土地を借りる必要があり、また必要に応じて隅切り用地を取得していく必要もある為、現状通り推進していく

事務事業名	放置車両の処理				課名	道路課		
指標	放置車両未発生率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0	1,056
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	1,056

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

放置車両による一般交通の妨げを避けるため必要である。

事務事業名	法定外公共物管理				課名	道路課		
指標	譲渡件数/譲渡可能な申請件数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	420	1,936
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	225	1,936

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

法定外公共物は未舗装が多く、通行の支障とならないよう維持管理をする。  
また、払下げについては申請を適正に処理する。

事務事業名	街路灯の新設及び維持管理				課名	道路課		
指標	街路灯補修率(街路灯補修件数/街路灯補修依頼件数)				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	52,451	4,488
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	49,788	4,488

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

交通の安全性及び快適性の確保の為、街路灯の維持管理は必要である。

事務事業名	道路の維持補修				課名	道路課		
指標	年間予定している道路の維持修繕整備率				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	90	達成率	90.00			予算額	291,954	9,856
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	255,675	9,856

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

道路管理者として、安全に通行できる道路機能を確保する必要があるため、事業の優先度は非常に高い。

事務事業名	道路パトロール				課名	道路課		
指標	パトロール実施率(パトロール実施件数/パトロール実施予定件)				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	1,197	11,968
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	1,197	11,968

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

定期的なパトロールにより、道路通行の安全確保が図られるため、事業の優先度は高い。

事務事業名	道路台帳の修正				課名	道路課		
指標	市道の変更等路線の修正率(道路台帳修正箇所/区域変更等の箇所)				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	10,240	3,608
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	10,010	3,608

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

道路法で定められている台帳整備・修正は、道路行政を進める上で必須であり、優先度は非常に高い。

事務事業名	道路境界の査定				課名	道路課		
指標	境界査定確定率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	3,248	704
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	2,917	704

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

市有財産を適正に管理処分するためには、必要な事業である。

### 施策を構成する事務事業

事務事業名	道路情報の提供（台帳、確定図の閲覧）				課名	道路課	
指標	認定路線等件数＋道路境界確定件数/データ投入件数 100%				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00			予算額	2,647
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	2,666 3,168

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

道路台帳等の閲覧や情報の提供は道路法で定められているので現状通り推進していく。

事務事業名	道路環境の維持(経常的経費)				課名	道路課	
指標	道路清掃、草刈り業務執行率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00			予算額	39,136
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	38,823 4,136

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

道路を良好な状態に保つため、清掃、草刈等を行いことは必要である。

事務事業名	道路の維持管理作業（土木センター）				課名	道路課	
指標	苦情等受付処理対応の土木センター緊急処理完了率（土木センター処				政策・経常	■政策 ■経常 □なし	
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00			予算額	10,875
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	9,739 51,392

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

道路の緊急補修依頼に迅速に対応するため、必要な事業である。

事務事業名	道路管理瑕疵の処理(訟務)				課名	道路課	
指標	道路瑕疵による事故処理率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	50	達成率	50.00			予算額	4,085
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	1,974 2,464

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

道路の破損等による不測の道路瑕疵事故に対応するため、事故への補償として、損害賠償保険は必要である。

事務事業名	我孫子北口タクシー待機場所管理				課名	道路課	
指標	使用料徴収率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00			予算額	292
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	201 968

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

我孫子駅南北ロータリーを管理し円滑に利用するため、タクシー待機所の管理は必要である。

事務事業名	占用台帳システムの充実				課名	道路課	
指標	道路占用台帳管理システムの運用率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00			予算額	131
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	131 880

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

今後も占用システムを利用し効率的に事業を行う。

事務事業名	車両制限の許可				課名	道路課	
指標	許可件数/申請件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし	
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0 264

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

道路管理者である市が通行許可の判定をおこなう必要がある。

事務事業名	道路占用の許可、調整				課名	道路課	
指標	処理率（許可件数/申請件数）				政策・経常	■政策 □経常 □なし	
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00			予算額	350
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	350 4,488

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

道路法第32条に基づく申請に対して、適正に審査し、許可書を発行する必要がある。

**施策を構成する事務事業**

事務事業名	道路用地内における土木工事の施工許可				課名	道路課	
指標	処理件数（許可件数／申請件数）				政策・経常	□政策 □経常 ■なし	
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	0 3,432

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

今後も占用システムを使用し事業を行う必要がある。

事務事業名	橋梁長寿命化修繕事業				課名	道路課	
指標	業務の完了率				政策・経常	■政策 □経常 □なし	
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00			予算額	146,440
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	121,908 7,392

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

橋梁の適正な維持管理を図るため当該事業を行うことは必要であり、交付金を活用し事業を展開できることから、優先度は非常に高い。

## 2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

### 事前評価

施策主管課長	施策主管部長
<ul style="list-style-type: none"> <li>・節の目標を達成するために効果的な政策だと考える。</li> <li>・生活道路の整備は、面的整備に伴う道路整備以外は基本的には考えられないことから、通行支障箇所の改善や老朽施設の更新、通行実態に応じた道路改良を実施するとともに道路の適切な管理、維持補修を行う必要がある。</li> <li>・実施には専門的知識を有している職員の配置とともに研修等で知識の習得も必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節の目標を達成するために効果的な政策だと考える。</li> <li>・生活道路の整備は、面的整備に伴う道路整備以外は基本的には考えられないことから、通行支障箇所の改善や老朽施設の更新、通行実態に応じた道路改良を実施するとともに道路の適切な管理、維持補修を行う必要がある。</li> </ul>
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



### 事後評価

施策主管課長	施策主管部長
<ul style="list-style-type: none"> <li>・節の目標を達成するために効率的な施策だと考える。</li> <li>・生活道路の整備は、通行支障箇所の改善や老朽化の更新、通行実態に応じた道路改良を実施し、適切な管理、維持補修を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妥当な評価と考える。</li> <li>・本施策は、市民生活と密接な関係があり、部の運営方針と直結する有効なものと判断する。</li> </ul>
改善検討	●要 ○不要
施策展開の改善点と展開方向	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施には、専門的知識を有している職員の人員配置などの措置が必要である。</li> </ul>	



### 2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	道路空間の魅力化の推進	施策コード	63203	施策主管部課	建設部 道路課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	生活道路の整備			関係課		
	(3) 節の目的	日常の暮らしを支える重要な施設である生活道路は、道路の安全性を高めるとともに、維持管理を充実します。また、道路空間のデザインや緑化に配慮し、魅力ある快適な道路整備をすすめます。					
	(4) 施策の目的・展開方向	魅力ある快適な道路空間をつくるため、その地域や道路にふさわしい路面のインターロッキングブロック舗装、街路灯のLED化、サインのデザイン、街路樹の選定などを行うとともに、街路樹の適切な維持管理を行います。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度				
		何（誰）を対象に	道路空間				
どういう状態に		その地域や道路にふさわしい、魅力ある快適な道路空間となっている					
(6) 施策実施上の課題と対応	街路樹剪定により発生する剪定枝木のリサイクル化、病害虫防除での散布薬剤量の軽減化が必要である。						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 自治会が管理するLED街路灯の設置率	魅力ある快適な道路空間の整備状況が把握できる。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	%	85	90	95	100
		実績値		88	93	97	98
		達成率		103.53	103.33	102.11	98.00
	②	目標値					
		実績値					
		達成率					
	③	目標値					
実績値							
達成率							
財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	35,995	43,291	45,183	41,023	
		人件費	3,256	2,992	2,992	3,344	
		合 計	39,251	46,283	48,175	44,367	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	35,995	43,291	45,183	40,916	
		人件費	3,256	2,992	2,992	3,344	
合 計		39,251	46,283	48,175	44,260		

### 施策を構成する事務事業

事務事業名	道路愛称の定着化				課名	道路課		
指標	愛称定着率				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0	達成率	0.00			予算額	0	440
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	440

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

従前どおり。

事務事業名	街路樹の維持管理事業				課名	道路課		
指標	街路樹維持管理率（病害虫・支障枝等街路樹育成阻害要因の除去件数）				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	41,023	2,640
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	40,916	2,640

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

街路樹の特徴や路線別課題に基づき、今後も剪定等を現状通り行っていく必要がある。

事務事業名	道路環境美化の活動支援（アダプトプログラム）				課名	道路課		
指標	団体数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	17	目標値	20	単位	団体	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	18	達成率	90.00			予算額	0	264
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	264

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

市内の道路環境美化には、ボランティアで道路美化活動を行う団体を支援することが、非常に効果的である。

## 2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

### 事前評価

施策主管課長	施策主管部長
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本施策は、節の目標を達成する上での効果的な手段であるが、現時点においては道路本来の機能確保を優先させる必要があることから、本施策を主目的とした具体的な事業展開は難しい状況にある。</li> <li>・生活道路を魅力ある空間にしていくためには、沿道の宅地や空き地を含めた景観の形成が必要となることから、市民との協働は必須となる。その地域や道路にふさわしい路面舗装、街路灯・サインのデザイン、街路樹の選定など魅力ある快適な道路空間をつくるための人員配置が考慮されていない。</li> <li>・街路樹維持管理には、専門的な知識が必要なことから、研修に</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本施策は、節の目標を達成する上で効果的な手段であるが、現時点においては、道路本来の機能確保を優先させる必要があることから、本施策を主目的とした具体的な事業展開は難しい状況にある。</li> <li>・生活道路を魅力ある空間としていくためには、沿道の宅地や空き地を含めた景観の形成が必要である。</li> </ul>
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



### 事後評価

施策主管課長	施策主管部長
<ul style="list-style-type: none"> <li>・節の目標を達成するために効果的な施策と考える。</li> <li>・生活道路の安全性を高めるとともに維持管理を適切に進めた。</li> </ul>	本施策は、市民生活と密接な関係があり、部の運営方針と直結する有効な施策と判断する。
改善検討	
●要 ○不要	
施策展開の改善点と展開方向	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や道路にふさわしいサインのデザインや街路樹の選定など魅力ある快適な道路空間をつくるために、専門的な知識を有している職員の配置などの措置が必要である。</li> </ul>	



### 2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	徒歩・自転車交通の安全性・快適性の確保	施策コード	63301	施策主管部課	建設部 道路課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	徒歩・自転車環境の整備			関係課		
	(3) 節の目的	安全で快適な歩行者空間の充実や自転車が安心して利用できる交通環境の整備をすすめます。					
	(4) 施策の目的・展開方向	徒歩や自転車交通の安全性と快適性を高めるため、歩道の段差解消や障害物の除去などのバリアフリー化や、点字ブロックなどの安全施設の整備を進めるとともに、自転車走行空間の確保に努めます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度				
		何（誰）を対象に	徒歩・自転車交通				
どういう状態に		安全性と快適性が高まっている。					
(6) 施策実施上の課題と対応	既設歩道のバリアフリー化は、幅員の確保や縦断勾配が大きい個所の対応が困難であるが、より基準に近づけるようにする。						

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	①	バリアフリーお出かけマップにおける累計改良数	改良を要するとされる箇所の数値であるため。				
	②	天王台南口点字ブロックの整備延長	バリアフリー化整備状況が把握できる。				
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	箇所	52	52	52	52
		実績値		34	34	0	0
		達成率		65.38	65.38	0.00	0.00
	②	目標値	m	98	76	66	0
		実績値		0	0	0	0
		達成率		0.00	0.00	0.00	0
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	28,034	23,361	5,000	5,000
		人件費	8,360	7,480	4,400	5,280
		合 計	36,394	30,841	9,400	10,280
	(10) 実績値 (千円)	事業費	28,034	23,361	5,000	4,986
		人件費	8,360	7,480	4,400	5,280
合 計		36,394	30,841	9,400	10,266	

### 施策を構成する事務事業

事務事業名	バリアフリー歩道改良				課名	道路課	
指標	工事完了率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00			予算額	5,000
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	4,986

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

社会ニーズに沿ったバリアフリーに配慮した歩道整備を進めることは、優先度は非常に高い。

事務事業名	我孫子隧道の歩道改修				課名	道路課	
指標	対応策検討の進捗率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	0	目標値	10	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	10	達成率	100.00			予算額	0
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

用地の確保やJR構造物の移転等の課題は多いが、歩行者・自転車利用者の安全確保のため、必要な事業である。

事務事業名	白山跨線人道橋延伸整備及び信号機の設置				課名	道路課	
指標	人道橋整備手法の検討進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし	
現況値	0	目標値	5	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	5	達成率	100.00			予算額	0
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

第四小学校、白山中学校の児童、生徒や地元住民が安全で快適に通行できるようにするために必要な事業である。

## 2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
<p>・ 徒歩や自転車交通の安全性と快適性を高めるためには、歩道のバリアフリー化、点字ブロックなどの安全施設の整備、自転車徒歩空間の確保は、節の目標を達成するための重要な施策である。</p> <p>・ 歩道のバリアフリー化については、重点的に進めていく必要があるため適切な人員配置が必要である。</p>	<p>・ 徒歩や自転車交通の安全性と快適性を高めるためには、歩道のバリアフリー化、点字ブロックなどの安全施設の整備、自転車徒歩空間の確保は、節の目標を達成するための重要な施策である</p>
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
<p>徒歩や自転車交通の安全性と快適性を高めるためには、歩道のバリアフリー化、点字ブロックなどの安全施設の整備、自転車徒歩空間の確保などを進めた。</p>	<p>本施策は、市民生活と密接な関係があり、部の運営方針と直結する有効な施策と判断する。</p>
改善検討	
<span style="font-weight: bold;">●要</span> <span style="font-weight: bold;">○不要</span>	
施策展開の改善点と展開方向	
<p>歩道のバリアフリー化については、重点的に進めていく必要があるため、適切な人員配置が必要である。</p>	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	自転車駐車場の利用促進	施策コード	63302	施策主管部課	建設部 交通課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	徒歩・自転車環境の整備			関係課	
	(3) 節の目的	安全で快適な歩行者空間の充実や自転車が安心して利用できる交通環境の整備をすすめます。				
	(4) 施策の目的・展開方向	各駅周辺の自転車放置禁止区域内における歩行者等の安全を確保するため、自転車駐車場の利用促進や放置自転車のパトロール強化に取り組み、安全で快適な歩行者空間を創出します。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度			
		何（誰）を対象に	各駅周辺で			
どういう状態に		快適な歩行者空間が創出されている。				
(6) 施策実施上の課題と対応	放置自転車対策と自転車駐車場管理運営を自転車駐車対策事業として、総合的に推進したことにより、以前に比べ快適な歩行空間が確保されている。しかし、市が撤去・移送ができない民間施設や自転車駐車場で自転車を放置する者（無断利用者）もいることから、今後は、積極的に自転車駐車場への利用に誘導していくことが必要である。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 放置自転車の年間返還台数	放置自転車の返還台数を指標とすることで、自転車駐車場の利用促進が図られているかどうかを把握することができる。					
	② 一時使用を除く自転車駐車場利用率	自転車駐車場の利用率を指標とすることで、放置自転車が減り安全な歩行者空間を創出されているかどうかを把握することができる。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	台	956	948	940	930
		実績値		935	520	453	200
		達成率		102.25	182.31	207.51	465.00
	②	目標値	%	80	80	80	80
		実績値		77	76	76	75
		達成率		96.25	95.00	95.00	93.75
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	137,698	149,288	152,652	177,313
		人件費	2,904	4,752	3,872	3,872
		合 計	140,602	154,040	156,524	181,185
	(10) 実績値 (千円)	事業費	137,698	149,288	152,652	177,293
		人件費	2,904	4,752	3,872	3,872
合 計		140,602	154,040	156,524	181,165	

**施策を構成する事務事業**

事務事業名	自転車等駐車対策事業				課名	交通課	
指標	自転車駐車場の利用台数（登録者）				政策・経常	■政策 ■経常 □なし	
現況値	76	目標値	80	単位	%	事業費(千円)	
実績値	75	達成率	93.75			予算額	177,313
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	177,293

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

高齢化が進む昨今において、駅前歩道等を良好な状態に保つためにも本事業の必要性は高く、施策への貢献度も高い。

## 2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
放置自転車対策は、歩道等における歩行者空間の確保のため重要な事業であり、その受け皿としての自転車駐車場の管理運営は、市民サービスの向上を図るといった観点からも必要不可欠な施策である。	自転車駐車場の利用促進は、駅周辺等の歩行者空間の確保に重要な施策であり、自転車駐車場の適切な維持管理運営及び放置自転車対策の強化を図り、良好な歩行者空間の確保を行っていく必要がある。今後は、利用者の受益者負担について考察し適正な使用料について検討を進めていく必要がある。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
令和元年度については、我孫子駅北口の受変電設備等改修工事も計画通り完了し、3月には、懸案となっていた使用料見直しに係る条例改正も完了した。次年度からは歳入歳出バランスを考慮し、定期的な使用料見直しも考慮しつつ進めていく必要がある。	放置自転車対策及び自転車駐車場管理運営は市民生活に係る重要な事業として、引き続き進めていく必要がある。今後は、歳出を抑えていくため、固定費に見直しや委託方式の改善などを実施していく必要がある。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	鉄道の輸送力の強化と利便性の向上	施策コード	63401	施策主管部課	企画財政部 企画課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	公共交通の利便性の向上			関係課		
	(3) 節の目的	通勤通学や買い物などの日常生活の移動を円滑で快適なものとするため、JR成田線をはじめ公共交通の輸送力や利便性を高めます。					
	(4) 施策の目的・展開方向	市民が快適に通勤・通学や日常生活に必要な移動ができるよう、重要な公共交通機関であるJR成田線の増発やJR常磐線の特別快速の我孫子駅停車、快速電車の削減ダイヤの復元、東京駅乗り入れ枠の拡大と東海道線との相互直通運転などをJR東日本に働きかけ、鉄道の輸送力の強化と利便性の向上を図ります。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度				
		何（誰）を対象に	JR成田線とJR常磐線				
どういう状態に		輸送力が強化され、利便性も向上している。					
(6) 施策実施上の課題と対応	JR成田線の増発やJR常磐線の特別快速の我孫子駅停車、快速電車の削減ダイヤの復元など市民の交通の利便性が向上するよう、毎年JR東日本に対し要望を実施しているが、実現には至っていない。実現は事業主体であるJR東日本の取り組みとなるため、沿線自治体が協力して実現に向けた働きかけを継続して行っていく。						

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① JR成田線の増発本数	増発が利用者の利便性向上に直接つながるため。					
	② 我孫子駅に停車する常磐線特別快速の往復本数	我孫子駅に停車する本数が増えることが利用者の利便性向上に直接つながるため。					
	③ 常磐線の東京駅乗り入れの往復本数	常磐線の東京駅に乗り入れは、利用者の利便性向上に直接つながるため。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	本	1	1	1	1
		実績値		0	0	0	0
		達成率		0.00	0.00	0.00	0.00
	②	目標値	本	6	6	6	6
		実績値		0	0	0	0
達成率		0.00		0.00	0.00	0.00	
③	目標値	本	35	35	41	41	
	実績値		33	41	41	41	
	達成率		94.29	117.14	100.00	100.00	

財源	年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	2,068	293	2,393	2,999
		人件費	5,368	6,512	7,568	7,216
		合計	7,436	6,805	9,961	10,215
	(10) 実績値 (千円)	事業費	2,068	293	2,393	2,124
		人件費	5,368	6,512	7,568	7,216
合計		7,436	6,805	9,961	9,340	

### 施策を構成する事務事業

事務事業名 常磐線の利便性向上					課名	企画課	
指標	要望事業数				政策・経常	■政策 ■経常 □なし	
現況値	3	目標値	3	単位	項目	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	3	達成率	100.00			予算額	2,484
事務事業の施策への貢献度					○高い ●普通 ○低い	評価	現状
					実績値	1,624	3,696

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

常磐線の利用状況や利用者からの声などを踏まえながら、粘り強くJR東日本への要望活動を継続していくとともに、天王台駅周辺の市有地内倉庫についての譲渡手続きを行う。

事務事業名 成田線の輸送力強化と利便性向上					課名	企画課	
指標	要望実績数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	10	目標値	10	単位	項目	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	15	達成率	150.00			予算額	465
事務事業の施策への貢献度					○高い ●普通 ○低い	評価	現状
					実績値	450	3,344

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

2021年4月に成田線開業120周年を迎えることから、記念事業の検討を行っている。引き続きJR東日本と各構成市町、関連団体と連携しながら協議を重ねていく。

事務事業名 成田空港活用協議会への参画					課名	企画課	
指標	事業の提案数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	1	目標値	1	単位	案	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	1	達成率	100.00			予算額	50
事務事業の施策への貢献度					○高い ●普通 ○低い	評価	現状
					実績値	50	176

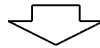
事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

2021年4月に成田線（我孫子～成田間）開業120周年記念事業が控えているため、引き続き成田空港活用協議会へ事業提案をしていく。

## 2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
市民の通勤・通学や日常生活の移動に、鉄道の輸送力強化と利便性向上は必要不可欠である。利用率の向上と要望実現のため、引き続き、要望活動などに着実に取り組んでいく。	鉄道の利便性向上は、定住化の促進などまちづくりの観点から重要な施策であり、引き続き取り組みを進めていく必要がある。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
常磐線・成田線は市民にとって重要な交通手段であることから、引き続き、利便性の向上に向け要望活動などに取り組む必要がある。	鉄道の利便性向上は定住化など、まちづくりの施策に大きな影響を与えることから、施策として引き続き取り組んでいく必要がある。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	バスの輸送力と利便性の向上	施策コード	63402	施策主管部課	建設部 交通課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	公共交通の利便性の向上			関係課		
	(3) 節の目的	通勤通学や買い物などの日常生活の移動を円滑で快適なものとするため、JR成田線をはじめ公共交通の輸送力や利便性を高めます。					
	(4) 施策の目的・展開方向	市民が快適に通勤・通学や日常生活に必要な移動ができるよう、駅や各施設への重要な交通手段であるバス路線の延長など、地域住民や公共交通事業者と連携し、バス輸送力と利便性の向上を図ります。また、市域東側の新たな公共交通として、シャトルバスの導入について市内バス事業者等と協議していきます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度				
		何（誰）を対象に	市民が				
どういう状態に		安全で快適にバスを利用している。					
(6) 施策実施上の課題と対応	高齢者等を対象とした送迎バス活用事業については、送迎バスを利用する際に、空席が無い場合は利用することができないことや、民間事業者の厚意で成り立っている事業であることを、利用者に理解してもらい、公共交通とは一線を画した事業として進めていく必要がある。市民バス運行事業については、経費削減のために運行経費縮減策を検討する必要がある。地域に市の財政状況を理解いただきながら、協力を求め、改善策を検討していく。						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 市民バスの利用者数	市民バスの乗客数を指標とすることで、バスによる地域交通の利便性が向上しているかどうかを把握することができる。					
	② 送迎バス利用者の登録数 (隔年)	送迎バスの利用者数を指標とすることで、高齢者等の外出応援事業の効果を把握することができる。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	人	200,000	205,000	210,000	215,000
		実績値		204,165	210,158	214,560	222,052
		達成率		102.08	102.52	102.17	103.28
	②	目標値	人	1,500	1,500	1,550	1,550
		実績値		1,500	1,600	2,000	2,000
		達成率		100.00	106.67	129.03	129.03
③	目標値						
	実績値						
	達成率						
財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	46,935	86,778	53,514	53,182	
		人件費	17,512	13,904	8,800	8,800	
		合 計	64,447	100,682	62,314	61,982	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	46,935	86,778	53,514	52,992	
		人件費	17,512	13,904	8,800	8,800	
合 計		64,447	100,682	62,314	61,792		

### 施策を構成する事務事業

事務事業名	事業者等の送迎バスの空席を活用した外出応援事業				課名	交通課		
指標	外出応援バス事業者数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	11	目標値	11		単位	事業者	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	10	達成率	90.91					
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	939	2,992
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)								

市内の高齢化が進むにつれて、公共交通だけでは各地域を生活の足を確保することはできない。そのため、送迎バス事業者の協力を得て高齢者等の移動手段を確保する本事業は重要である。

事務事業名	我孫子市地域公共交通協議会運営(市民バスの運行)				課名	交通課		
指標	あびバス・ふれあいバス(市内バス停)利用者数				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	225,860	目標値	215,000		単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	222,052	達成率	103.28					
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	52,243	5,808
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)								

あびバスを含め、新たな公共交通を研究・検討している協議会は、今後の市内公共交通の維持・発展に果たす役割は大きい。

## 2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
<p>市民バスの運行については、市内の交通不便及び空白地区の解消を図る重要な事業である。事業者等の送迎バスの空席を活用した外出応援事業は、公共交通を補完する移動手段として重要な事業である。このような事業の展開は、市民の移動における利便性を向上するために必要不可欠な施策である。</p> <p>今後は、旧型車両を使用している船戸・台田ルート、栄・泉・並木ルートの専用車両の更新について、地域の混雑が無いように具体的な検討を進めてもらいたい。</p>	<p>市民バスの運行、市内を走る民間事業者の送迎バスを活用した外出応援事業等による市民の移動手段の確保に係る施策は、高齢化が進む市の現状から考えても重要であり、推進していく必要がある。</p> <p>新型車両導入した場合、影響が大きいことが想定される船戸・台田ルート、栄・泉・並木ルートについては、具体的な導入車両を決定し、引き続き地域の理解を得られるよう努めていく。</p>
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
<p>深夜シャトルバス等の事業が我孫子市地域公共交通協議会において、承認され、新たな交通の確立に向け、事業を進めていく。新型コロナウイルスの影響も考慮しつつ、我孫子市地域公共交通協議会を中心に引き続き市民の足を確保していく必要がある。</p>	<p>新型コロナウイルスの感染拡大により、大きく社会情勢が変化しているため、計画している事業に関しても、これらの影響を十分に考慮し進めていく必要がある。なお、事業推進にあたっては、既存交通の維持確保を最重視し進めるよう取り組んでもらいたい。</p>
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	

2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	駅施設のバリアフリー化の推進	施策コード	63403	施策主管部課	建設部 交通課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	公共交通の利便性の向上			関係課	
	(3) 節の目的	通勤通学や買い物などの日常生活の移動を円滑で快適なものとするため、JR成田線をはじめ公共交通の輸送力や利便性を高めます。				
	(4) 施策の目的・展開方向	誰もが安全で快適に駅施設を利用できるよう、新木駅では、自由通路を整備し、駅南口・北口にエレベーター・エスカレーターを設置するとともに、我孫子駅と天王台駅では、自由通路の整備を検討します。また、駅構内のエレベーターの設置を支援します。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度			
		何（誰）を対象に	市民が			
どういう状態に		安全で快適に駅施設を利用している。				
(6) 施策実施上の課題と対応	我孫子駅では、ホームエレベーターが未整備となっているため、設計段階から整備主体であるJR東日本に支援を行っていく。市民が利用しやすい施設となるよう費用対効果も含め、JR東日本と早期整備に向けた協議を進めていく。					

施策指標	(7) 指標		指標の設定理由				
	①	自由通路の累計整備箇所数	自由通路の整備箇所数を指標とすることで、市民が快適に駅施設を利用できているかどうか把握することができる。				
	②	各駅エレベーターの累計設置数	エレベーターの設置数を指標とすることで、市民が快適に駅施設を利用できているかどうか把握することができる。（駅構内外）				
	③	各駅エスカレーターの累計設置数	エスカレーターの設置数を指標とすることで、市民が快適に駅施設を利用できているかどうか把握することができる。（駅構内外）				
	(8) 指標の目標値と実績値		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	①	目標値	箇所	3	3	3	3
		実績値		3	3	3	3
		達成率		100.00	100.00	100.00	100.00
	②	目標値	基	15	15	15	15
		実績値		15	15	15	15
達成率		100.00		100.00	100.00	100.00	
③	目標値	基	23	23	23	23	
	実績値		23	23	23	23	
	達成率		100.00	100.00	100.00	100.00	

財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	1,209,753	52,099	219,449	37,538
		人件費	9,152	14,256	10,296	10,296
		合 計	1,218,905	66,355	229,745	47,834
	(10) 実績値 (千円)	事業費	1,209,753	52,099	219,449	18,494
		人件費	9,152	14,256	10,296	10,296
合 計		1,218,905	66,355	229,745	28,790	

### 施策を構成する事務事業

事務事業名					課 名		交通課	
駅施設維持管理事業					政策・経常		■政策 ■経常 □なし	
指 標 対応箇所数							事業費(千円)	
現況値	22	目標値	22	単 位	箇 所	正職員人件費(千円)		
実績値	22	達成率	100.00			予算額	18,538	3,872
事務事業の施策への貢献度					●高い ○普通 ○低い	評価	現状	実績値
							18,494	3,872
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)								
市民の多くが利用する駅施設、特にバリアフリー施設の維持管理は、障がい者や高齢者の移動円滑化を図るために必要不可欠な事業であることから、施策への貢献度は高い。								
事務事業名					課 名		交通課	
駅構内バリアフリー施設等の整備・支援					政策・経常		■政策 □経常 □なし	
指 標 当該年度設計進捗率							事業費(千円)	
現況値	100	目標値	100	単 位	%	正職員人件費(千円)		
実績値	80	達成率	80.00			予算額	19,000	6,424
事務事業の施策への貢献度					●高い ○普通 ○低い	評価	現状	実績値
							0	6,424
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)								
我孫子駅構内エレベーターは多くの市民が望む施設であり、市民の利便性向上に直結する事業である。								

## 2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
<p>誰もが安全で快適に駅及び駅周辺施設を利用できるよう、駅のバリアフリー化及び安全対策は重要であり必要不可欠なものである。我孫子駅ラッチ内EV整備については、東日本旅客鉄道(株)が進める設計に関して、より市民が利用しやすいよう費用対効果を検証しつつ、早期実現に向け協議を重ねるとともに、必要となる支援方法を検討していく。</p>	<p>我孫子駅ラッチ内エレベーター整備については、市民の要望が多い事業であるため、丁寧に進めていく必要がある。引き続きJR東日本と良好な関係を築きながら、早期実現に向け進めていく必要がある。また、ホームドア整備に関しては、支援の方法を検討し、協議を行っていく。</p>
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
<p>東日本旅客鉄道(株)が実施している我孫子駅ホームエレベーター及びトイレ改修に係る実施設計業務が、同社申出により工事におけるコストダウンの深度化を図るため、令和2年度に延長となった。引き続き早期に整備できるよう同社と協議を進めていく。</p>	<p>我孫子駅ホームエレベーターに関しては、市民の多くが切望する施設であることから、確実に整備されるよう、引き続き、東日本旅客鉄道(株)と丁寧な協議を進め、早期に工事協定を締結し着工できるよう進めていく必要がある。</p>
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	交通安全の啓発	施策コード	63501	施策主管部課	市民生活部 市民安全課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	交通安全			関係課		
	(3) 節の目的	交通事故から市民を守るため、交通安全意識を高めるとともに、安全な交通環境の整備をすすめます。					
	(4) 施策の目的・展開方向	交通事故から市民を守り、交通マナーの向上を図るため、警察署や学校、各種関係団体と連携し、交通安全教室や通学時の街頭指導、シルバーリーダーの育成などに取り組むとともに、歩行者の安全に配慮した自転車の運転マナーを向上させるための啓発活動や自転車保険への加入を促進し、市民の交通安全意識を高めます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度				
		何（誰）を対象に	市民				
		どういう状態に	交通安全意識が高まっている				
(6) 施策実施上の課題と対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市に啓発活動を行える交通指導専門の職員がいないため、警察・交通安全協会の協力が不可欠となっているが、交通安全協会の地域交通安全推進委員の人員確保にも課題がある。このため、交通安全教室等の実施回数を増やすことが困難であるが、交通事故防止のため、今後も啓発活動の継続が必要である。</li> <li>・各学校において、交通安全教室のカリキュラムの設定が難しくなっているが、当面の対応として、小・中学校の校長会で交通安全教室の開催を働きかけていく。</li> <li>・各幼稚園、保育園にも幼児からの交通安全教室の重要性を訴えていく。</li> </ul>						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 交通安全指導の実施回数	市民の交通安全意識を高める。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	回	48	48	48	48
		実績値		47	52	45	51
		達成率		97.92	108.33	93.75	106.25
	②	目標値					
		実績値					
達成率							
③	目標値						
	実績値						
	達成率						
財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	1,893	1,619	1,368	642	
		人件費	5,280	7,040	7,040	10,120	
		合 計	7,173	8,659	8,408	10,762	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	1,893	1,619	1,368	473	
		人件費	5,280	7,040	7,040	10,120	
		合 計	7,173	8,659	8,408	10,593	

### 施策を構成する事務事業

事務事業名	交通安全思想の普及				課名	市民安全課		
指標	交通安全教室及び交通安全大会など啓発事業の開催回数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	51	目標値	53	単位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	51	達成率	96.23			予算額	444	6,160
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	328	6,160

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

警察や交通安全協会と連携して継続実施しながらも、実情に即した創意工夫が必要である。

事務事業名	交通安全指導員の配置				課名	市民安全課		
指標	交通指導員の出動回数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	164	目標値	220	単位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	164	達成率	74.55			予算額	198	3,960
事務事業の施策への貢献度	○高い ○普通 ●低い			評価	結合	実績値	145	3,960

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

ボランティアによる見守り活動など、地域が自立し自主的な活動に取り組んでいるところがあり、交通指導員による安全確保から地域の活動への支援へと施策の転換を進め、6月以降は配置を休止する。

## 2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
・交通安全協会、警察などと連携し、交通安全教室を開催し交通安全教育を徹底し、交通事故の防止を図る。	全国交通安全運動を基に警察、交通安全指導員、市等が連携し、特に子ども、高齢者への啓発が重要になっている。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
交通安全の啓発活動については、市内の保育園、幼稚園、小中学校、スポーツ少年団等の協力のもと、警察署等関係機関と連携し実施できた。今後も警察署等の関係機関と連携し交通安全教室等、交通安全の啓発活動を実施していく。	交通安全教室等の交通安全啓発の活動について、市と警察署、交通安全協会等の関係機関と連携し実施することができた。今後も関係機関との連携を推進し、事業を継続して啓発活動を行い、交通安全の意識向上を図りたい。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	安全な交通環境の整備	施策コード	63502	施策主管部課	市民生活部 市民安全課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	交通安全			関係課	道路課	
	(3) 節の目的	交通事故から市民を守るため、交通安全意識を高めるとともに、安全な交通環境の整備をすすめます。					
	(4) 施策の目的・展開方向	市内の交通事故件数を減少させるため、道路管理者や警察などの関係機関と連携し、適切な交通規制の実施、交差点の改良やカーブミラーなどの整備を進め、安全な交通環境をつくります。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度				
		何（誰）を対象に	市民				
どういう状態に		安全な交通環境が整備されている					
(6) 施策実施上の課題と対応	・交通事故減少のためには、交通安全対策の専任体制が必要である。現在の人数は、防犯業務も含め嘱託職員を入れ3名であり、体制の強化が必要である。						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 危険箇所共同現地診断での交通安全施設の整備数	安全な交通環境が整備される。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	箇所	2	2	2	2
		実績値		2	2	2	1
		達成率		100.00	100.00	100.00	50.00
	②	目標値					
		実績値					
達成率							
③	目標値						
	実績値						
	達成率						
財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	19,383	19,833	29,119	31,155	
		人件費	2,816	2,640	2,552	2,376	
		合 計	22,199	22,473	31,671	33,531	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	19,383	19,833	29,119	30,831	
		人件費	2,816	2,640	2,552	2,376	
合 計		22,199	22,473	31,671	33,207		

### 施策を構成する事務事業

事務事業名	交通安全施設整備				課名	道路課	
指標	交通安全施設工事完了率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00			予算額	31,155
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	30,831
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							
市民の要望等に基づき安全な交通環境を地域に提供する必要がある。							

## 2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
・事故防止注意看板の設置、交通事故多発箇所の改善等を行い、交通事故の未然防止を図る必要がある。	警察、道路管理者等が連携し、交通事故を減少させるため原因の追究を行う等、現状に合わせた対策を講ずる必要がある。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
警察署、道路管理者等の関係機関と連携し、交通事故防止対策のための現地確認・診断を行った。今後も警察署、道路管理者等の関係機関と連携し、交通安全のための環境整備を推進する。	今後も関係機関と連携し、交通事故防止のために交通環境の整備を推進する。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	市営住宅の改善と効率的な供給	施策コード	64001	施策 主管部課	都市部 建築住宅課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	良質な住宅供給の促進			関係課	
	(3) 節の目的	公営住宅の供給・改善に努めます。また、バリアフリー等の住宅改造への支援や、住宅に関する総合的な情報提供をすすめるとともに、定住化を支える新たな住宅施策に取り組みます。				
	(4) 施策の目的・展開方向	住宅に困窮する低所得者などに対し、安全で質の高い市営住宅を供給するため、老朽施設の改修、バリアフリー化の推進などを計画的に行います。また、市営住宅ごとの入居申込み件数を注視しながら、民間住宅の活用を視野に入れた、より広い枠組みの中で効率的かつ柔軟な供給を進めていきます。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度			
		何（誰）を対象に	市営住宅			
どういう状態に		施設の良質化や安全性が向上しているとともに、効率的な供給がされている。				
(6) 施策実施上の課題と対応	新たな市営住宅供給について、民間賃貸住宅の活用等、望ましい活用方法を検討していく。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 老朽化した市営住宅の大規模改修完了棟数	大規模改修の実施が安全性等の向上と施設の長寿命化につながり、施策目的達成に寄与する指標であるため。					
	② 市営住宅の平均入居率	住宅に困窮する低所得者等に対し、安全で質の高い住宅供給に寄与する指標であるため。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	棟	12	15	17	18
		実績値		12	15	17	18
		達成率		100.00	100.00	100.00	100.00
	②	目標値	%	97	98	99	100
		実績値		95	96	96	100
		達成率		97.94	97.96	96.97	100.00
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	113,578	190,614	142,317	114,588
		人件費	10,120	10,120	24,728	27,720
		合 計	123,698	200,734	167,045	142,308
	(10) 実績値 (千円)	事業費	113,578	190,614	142,317	113,187
		人件費	10,120	10,120	24,728	27,720
合 計		123,698	200,734	167,045	140,907	

### 施策を構成する事務事業

事務事業名	市営住宅使用料調定及び徴収事務				課名	建築住宅課	
指標	当該年度住宅使用料徴収率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	97	目標値	97	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	97	達成率	100.00			予算額	367
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	362 7,480

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

市営住宅使用料等は市営住宅維持管理の財源として重要である。今後も、家賃徴収率の向上に努めていく必要がある。

事務事業名	市営住宅入居者管理業務				課名	建築住宅課	
指標	各申請受付件数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	158	目標値	110	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	158	達成率	143.64			予算額	427
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	375 7,480

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

適正な入居募集と入居者管理を行っていく。

事務事業名	市営住宅維持管理業務				課名	建築住宅課	
指標	給水設備等点検、樹木剪定等、土地賃貸借契約の締結件数				政策・経常	■政策 ■経常 □なし	
現況値	25	目標値	25	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	25	達成率	100.00			予算額	21,330
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	21,242 7,920

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

入居者の住環境整備のため、今後も事務を継続していく必要があるが、事務の効率化、経費の節減及びサービスの向上を図るため。

事務事業名	市営住宅の維持補修				課名	建築住宅課	
指標	大規模改修工事による長寿命化及び耐震基準を満たした市営住宅の棟				政策・経常	■政策 □経常 □なし	
現況値	18	目標値	18	単位	棟	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	18	達成率	100.00			予算額	92,464
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	91,208 4,840

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

施設を中長期維持管理していくため、長寿命化計画に基づく団地の大規模改修が必要である。

事務事業名	市営住宅東我孫子電波障害対策用電柱共架施設の撤去				課名	建築住宅課	
指標	調査の結果、影響が無かった範囲の共架施設（電柱の本数）				政策・経常	□政策 □経常 ■なし	
現況値	22	目標値	22	単位	本	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	0	達成率	0.00			予算額	0
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	0 0

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

電波障害対策用電柱共架施設については、緊急性がないため、撤去工事を31年度以降としたい。

## 2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
①施策は効果的な手段となっている。 ②社会状況の変化に対応した内容である。 ③目標設定は妥当である。 ④施設管理や修繕の業務委託化や大規模改修など有効な事業を実施している。 ⑤事業の性質から協働は考えにくい。 ⑥社会資本整備総合交付金の活用等、適切な財源を得ている。 ⑦滞納整理の職員体制については、徴収一元化の推進及び必要な人員の配置が求められる。長期間連絡が取れない等悪質な場合は法的な手段も検討する。	①～④目標設定のため有効な施策及び事業である。 ⑤事業の性質から考えにくい。 ⑥社会資本整備総合交付金、起債の活用を進める。 ⑦滞納整理については徴収一元化推進とともに、体制の強化が必要である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
①施策は効果的な手段となっている。 ②社会状況の変化に対応した内容である。 ③目標設定は妥当である。 ④施設管理や修繕の業務委託化や大規模改修など有効な事業を実施している。 ⑤事業の性質から協働は考えにくい。 ⑥社会資本整備総合交付金の活用等、適切な財源を得ている。 ⑦滞納整理の職員体制については、徴収一元化の推進及び必要な人員の配置が求められる。	①～④目標設定のため有効な施策及び事業である。 ⑤事業の性質から考えにくい。 ⑥社会資本整備総合交付金、起債の活用を進める。 ⑦滞納整理については徴収一元化推進とともに、体制の強化が必要である。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	住宅支援策の充実	施策コード	64002	施策主管部課	都市部 建築住宅課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	良質な住宅供給の促進			関係課		
	(3) 節の目的	公営住宅の供給・改善に努めます。また、バリアフリー等の住宅改造への支援や、住宅に関する総合的な情報提供をすすめるとともに、定住化を支える新たな住宅施策に取り組みます。					
	(4) 施策の目的・展開方向	住生活に対する市民の多様なニーズに対応するため、住まいにかかわる相談窓口や総合的な情報提供を充実するとともに、若い世代の住宅取得や住宅リフォーム、液状化被害を受けた住宅等の敷地の有効活用、高齢者や障害者のためのバリアフリー化などに対する支援を進めます。また、市内への定住化を進めるために必要な住宅支援制度の充実を図ります。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度				
		何（誰）を対象に	市内外の人々				
		どういう状態に	定住化につながる住宅支援策が充実している。				
(6) 施策実施上の課題と対応	住宅支援策について市内外へ広く周知を図る必要がある。広報あびこや市ホームページの活用、不動産事業者等への依頼、広報担当部署との連携などを効果的に推進する。						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 住宅・不動産相談の実施件数	市民の住まいに関わる相談事について、専門家による相談窓口を設けることで住まいに関する不安を解消し住環境の向上につながる					
	② 住宅取得・リフォーム補助金の申請件数	転入者を含む市内の定住促進を進めるうえで、最も実数に近い、参考となる指標である					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	件	50	50	50	35
		実績値		39	30	45	30
		達成率		78.00	60.00	90.00	85.71
	②	目標値	件	570	487	584	588
		実績値		639	485	509	648
		達成率		112.11	99.59	87.16	110.20
③	目標値						
	実績値						
	達成率						
財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	114,768	66,346	59,597	78,503	
		人件費	23,760	30,360	18,480	28,160	
		合 計	138,528	96,706	78,077	106,663	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	114,768	66,346	59,597	63,192	
		人件費	23,760	30,360	18,480	28,160	
		合 計	138,528	96,706	78,077	91,352	

### 施策を構成する事務事業

事務事業名	マンション管理に関する支援事業				課名	建築住宅課		
指標	セミナー・個別相談会の参加団体数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	16	目標値	15	単位	団体	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	17	達成率	113.33					
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	14	2,200

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

分譲マンションの居住者等の関係者にとって、相談窓口としての重要な役割を担っている。

事務事業名	住宅・不動産相談及び住宅情報提供業務				課名	建築住宅課		
指標	住宅・不動産相談者数				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	45	目標値	35	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	30	達成率	85.71					
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	4	2,200

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

市民の負担軽減につながる事業であり、情報提供などを常に拡充していく。

事務事業名	我孫子市増改築等工事施工業者紹介制度				課名	建築住宅課		
指標	申込件数(H30年度82件、H31年度119件)				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	82	目標値	60	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	119	達成率	198.33					
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	3,520

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

市民の負担軽減につながる事業として、必要な対応を実施。

事務事業名	災害支援補助事業（震災対応）				課名	建築住宅課		
指標	補助金申請件数（液状化補助金、利子補給）				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	10	目標値	9	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	5	達成率	55.56					
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	3,215	7,040

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

東日本大震災からの復興に向けて、今後も継続すべき事業である。

事務事業名	住宅リフォーム補助事業				課名	建築住宅課		
指標	補助金の申請件数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	183	目標値	177	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	202	達成率	114.12					
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	17,335	4,400

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

利用者が幅広く利用できるように内容の拡充を図って行く。

事務事業名	若い世代の住宅取得支援				課名	建築住宅課		
指標	交付申請数				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	326	目標値	411	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	446	達成率	108.52					
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	見直し	実績値	37,935	6,600

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本制度は、若い世代の定住化促進に必要な事業であるが、経費のかかる事業であるため、補助内容を見直ししていく。

事務事業名	災害支援補助事業（台風、地震等）				課名	建築住宅課		
指標	処理率（当該年度交付件数／当該年度補助申請件数）				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00					
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	20,000	2,200

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

令和元年台風15号、台風19号及び10月25日の大雨により被災した住宅に対し、修繕費用の一部助成することにより、再建支援を行う必要がある。

## 2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

### 事前評価

施策主管課長	施策主管部長
① 市民の定住化に向けて効果的な手段と考える。 ② 市民ニーズに適合していると考ええる。 ③ 目標設定は妥当と考える。 ④ 有効な事業を展開していると考ええる。 ⑤ 市民が主体となって良質な住宅を確保することを行政が支援するものであり、結果として協働と同様の効果を得ている。 ⑥ 財源配分は妥当と考える。 ⑦ 更なる業務増加に対して人員配置を強化すべきである。	①～④ 有効かつ妥当な施策及び事業である。 ⑤ 協働と同様の効果を得ている。 ⑥ 財源配分は適切である。 ⑦ 人員配置を強化すべきである。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



### 事後評価

施策主管課長	施策主管部長
① 市民の定住化に向けた効果的な手段と考える。 ② 市民のニーズの一つとして、適合していると考ええる。 ③ 目標設定は妥当と考える。 ④ 有効な事業の一つとして、展開していると考ええる。 ⑤ 市民が主体となり、良質な住宅を確保することを行政が支援していることで、考え方によっては協働と捉えることができる。 ⑥ 事業への財源配分は適切と考える。 ⑦ 人員配置は適正と考える。	①～④ 部の運営方針、課の目標に沿った施策であり、節の目的達成に効果的な施策である。また、実施した事業は、施策推進に有効であった。 ⑤ 行政が実施すべき施策である。(市民の取組に対する行政支援) ⑥⑦ 財政配分、人員配分ともに適正であった。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



### 2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	誇りと愛着を感じさせる魅力あるまち並みの保全・育成	施策コード	65001	施策主管部課	都市部 都市計画課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	魅力あるまち並みの実現			関係課		
	(3) 節の目的	心を豊かにし、まちに誇りと愛着を感じさせる魅力ある景観を保全します。また、地区の個性をいかし、調和のとれた優れた景観の創出をすすめます。					
	(4) 施策の目的・展開方向	市民が我孫子市の景観に誇りと愛着を感じられるよう、魅力的な景観ポイントや市民の優れた景観活動などの情報発信を進め、景観づくり市民団体などと協働して啓発事業を実施します。また、魅力あるまち並みの保全・育成を図るため、地域の景観づくりに携わる市民団体や地域住民、事業者とともにハケの道の沿道緑化などに取り組みます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度				
		何（誰）を対象に	市民				
		どういう状態に	魅力あるまち並みを保全・育成する意識が高まっている				
(6) 施策実施上の課題と対応	景観形成情報発信・啓発イベントの実施にあたり、若い世代をはじめ、幅広い世代に参加を促すための手法を検討する必要がある。						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 景観形成情報発信・啓発イベントの実施回数	景観に対する市民の意識の高まりを示す指標として、景観形成情報発信・啓発イベントへの実施回数を設定した。平成27年度から31年度までは、我孫子のいろいろ八景歩きの実施を設定。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	回	8	8	8	4
		実績値		8	8	8	4
		達成率		100.00	100.00	100.00	100.00
	②	目標値					
		実績値					
		達成率					
	③	目標値					
実績値							
達成率							
財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	915	675	319	252	
		人件費	11,440	11,440	12,320	5,720	
		合 計	12,355	12,115	12,639	5,972	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	915	675	319	252	
		人件費	11,440	11,440	12,320	5,720	
		合 計	12,355	12,115	12,639	5,972	

### 施策を構成する事務事業

事務事業名 景観ポイント整備・誘導					課名	都市計画課	
指標	ハケの道沿道の緑化修景の支援回数				政策・経常	■政策 ■経常 □なし	
現況値	2	目標値	3	単位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	4	達成率	133.33			予算額	33
事務事業の施策への貢献度 ●高い ○普通 ○低い					評価	現状	実績値
						33	2,640

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

景観ポイントの整備は、我孫子の景観の魅力を高め、市民の景観に対する興味・関心の喚起や市外在住者への我孫子のPRに寄与するものである。

事務事業名 景観形成情報発信・啓発事業					課名	都市計画課	
指標	我孫子のいろいろ八景歩き実施回数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	4	目標値	4	単位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	4	達成率	100.00			予算額	219
事務事業の施策への貢献度 ●高い ○普通 ○低い					評価	現状	実績値
						219	3,080

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

市民団体の優れた景観活動を支援し、協働で情報発信や啓発活動を実施していくことは、多くの市民が我孫子の魅力ある景観を知り、興味・関心を持つことにつながるため、今後も継続すべき事業である。

## 2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

### 事前評価

施策主管課長	施策主管部長
誇りと愛着を感じさせる魅力あるまち並みの保全・育成を図っていくためには、本施策に基づいて、市民や市民団体と協働しながら、ハケの道沿道の修景や、景観意識の向上に繋がるイベントの開催等によって、市民への啓発を進めていくことが重要である。	誇りと愛着を感じさせる魅力あるまち並みの保全・育成を図っていくうえで重要な施策であり、市民や市民団体と協働しながら進めていく。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



### 事後評価

施策主管課長	施策主管部長
引き続き、魅力的な景観ポイントや市民の優れた景観活動などの情報発信を中心に、市民への啓発活動を進めていく。また、ハケの道沿道の緑化修景やオオバン通り沿道に試験植樹した樹木の経過観察等を、市民や市民団体と協働で進めていく。市民団体と協働で企画・実施している「我孫子のいろいろ八景歩き」は、参加者から好評を博しており、景観に対する意識啓発に効果を発揮していることから、今後も継続する必要がある。	①～④ 部の運営方針及び課の目標に沿った、節の目的の達成に効果的な施策であった。 ⑤ 景観づくり市民団体に認定されている「我孫子の景観を育てる会」をはじめ、市民団体と協働で各事業を推進した。 ⑥⑦ 節の目的を達成するため、現状の人員配置を維持し、引き続き各事業に取り組んでいく必要がある。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	
→	



### 2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	地区の個性をいかし、調和のとれた優れた景観の創出	施策コード	65002	施策主管部課	都市部 都市計画課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	魅力あるまち並みの実現			関係課	
	(3) 節の目的	心を豊かにし、まちに誇りと愛着を感じさせる魅力ある景観を保全します。また、地区の個性をいかし、調和のとれた優れた景観の創出をすすめます。				
	(4) 施策の目的・展開方向	地区の個性をいかし、調和のとれた景観を創出するため、景観アドバイザー制度などを活用しながら、景観計画区域内行為の事前協議・届出を通じて、民間建築物などの景観誘導を進めるとともに、公共事業では先導的な優れた景観づくりを進めます。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度			
		何（誰）を対象に	民間建築物や公共事業			
どういう状態に		調和のとれた優れた景観づくりが行われている				
(6) 施策実施上の課題と対応	民間事業や公共事業にとって適切なタイミングで景観誘導を行うことが重要であることから、庁内関係課との連携を密に行う必要がある。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 景観誘導協議合意率	施策の目的・展開方向にある建築物などの景観誘導の成果を示す指標として、景観誘導協議合意率を選定した。					
	② 公共事業の景観形成基準への適合率	施策の目的・展開方向にある公共事業が先導的な優れた景観づくりを進めている指標として、公共事業の景観形成基準への適合率を選定した。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	%	100	100	100	100
		実績値		100	100	100	100
		達成率		100.00	100.00	100.00	100.00
	②	目標値	%	100	100	100	100
		実績値		100	100	100	100
		達成率		100.00	100.00	100.00	100.00
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	4,694	4,806	4,914	5,342
		人件費	11,000	11,000	11,000	8,800
		合 計	15,694	15,806	15,914	14,142
	(10) 実績値 (千円)	事業費	4,694	4,806	4,914	5,241
		人件費	11,000	11,000	11,000	8,800
合 計		15,694	15,806	15,914	14,041	

### 施策を構成する事務事業

事務事業名	屋外広告物の許可申請事務				課名	都市計画課		
指標	違反広告物簡易除却件数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	600	目標値	700	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	1,331	達成率	52.59			予算額	2,685	2,200
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	2,676	2,200

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

屋外広告物法や千葉県屋外広告物条例、我孫子市景観条例に基づく事業のため、今後も継続する必要がある。

事務事業名	景観計画区域内行為の景観誘導				課名	都市計画課		
指標	景観誘導協議済率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	2,613	4,840
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	2,565	4,840

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

我孫子市景観条例及び我孫子市景観形成基本計画に基づく事業であるため、事業の優先度は高い。

事務事業名	公共事業における景観誘導				課名	都市計画課		
指標	景観誘導協議済率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	44	1,760
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	1,760

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

地区の個性を活かし調和のとれた景観を創出するという施策目的の実現に効果的であり、今後も継続すべき事業である。

## 2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

### 事前評価

施策主管課長	施策主管部長
地区の個性を生かし、調和のとれた景観を創出するためには、本施策に基づいて、景観アドバイザーを活用しながら、民間建築物などの景観誘導を進めるとともに、公共事業において先導的な優れた景観づくりを進めていくことが重要である。	地区の個性を生かし、調和のとれた景観を創出していくうえで重要な施策であり、景観アドバイザーを活用しながら進めていく。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



### 事後評価

施策主管課長	施策主管部長
調和のとれた優れた景観の創出や魅力あるまち並みの実現に向けて、景観アドバイザーを活用しながら、引き続き民間建築物などの景観誘導や公共事業における先導的な優れた景観づくりを進めていく必要がある。	①～④ 部の運営方針及び課の目標に沿った、節の目的の達成に効果的な施策である。 ⑤ 法律や条例等に基づく誘導が主となることから、協働には該当しなかった。 ⑥⑦ 節の目的を達成するため、現状の人員配置を維持し、引き続き取り組んでいく必要がある。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	
→	



### 2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	